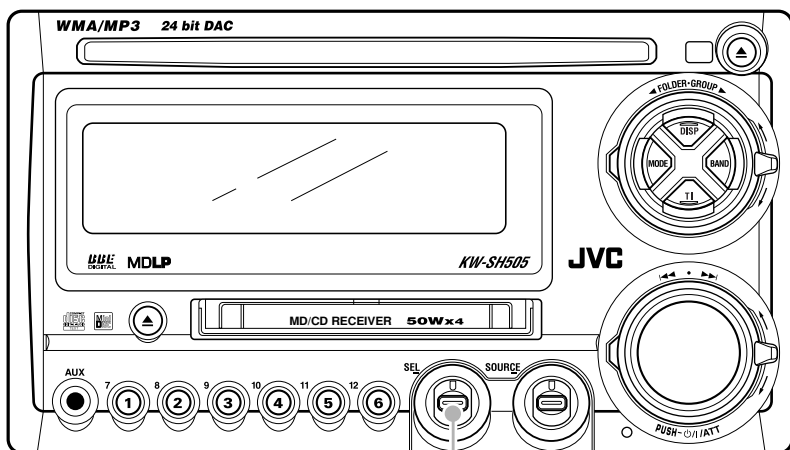


JVC

取扱説明書

MD/CDレシーバー

型名 KW-SH505



MDLP



UBE[®] DIGITAL

デモ表示について

本機の操作を20秒以上しないと、自動で表示窓がデモ表示に変わります。

解除したいときは、**39～41**ページの「SELレバーを使った各種設定と調節」をご覧ください。「**DEMO**」を「**OFF**」に切り換えてください。

— お買い上げありがとうございます —

!ご使用前に

この「取扱説明書」と別紙の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

GET0220-001A

もくじ

	ページ		ページ
● 安全上のご注意	3~5	● 音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く	25~32
● 使用上のご注意	6~7	・ MP3/WMAディスクについて	25
・ CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて	7	・ CD-R/CD-RWディスクについて	26
・ MDの取扱いについて	7	・ CDテキストについて	26
● 各部の名前	8~9	・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	26
・ SELレバーとMODEボタンについて	9	・ 頭出しをする(スキップ)	26
● リモコン(RM-RK41J:別売り)の使いかた	10~11	・ 聞きたいフォルダを選ぶ	27
・ 使用上の注意	10	・ ダイレクト演奏	27
・ 電池の入れかた	10	・ 曲を10ずつダイレクトに選ぶ	28
・ 各部の名前	11	・ 曲(ファイル)の選びかた	28
● 基本操作	12	・ MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序	29
● 時計を合わせる	13	・ ダイレクトフォルダアクセス機能	29
● ラジオを聞く	14~18	・ いろいろな再生モードを利用する	30
・ 放送局を選ぶ	14	・ CD演奏中に表示内容を変える	31
・ 選局について	14	・ CDを取り出す	32
・ アンテナリモートについて	14	・ CDの盗難防止	32
・ 放送局を自動で記憶(メモリー)させる	15	● CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く	33~37
・ 放送局を選んで記憶(メモリー)させる	16	・ 全曲演奏(全CDのくり返し演奏)	33
・ 放送局を呼び出す(プリセット選局)	16	・ CD演奏中に表示内容を変える	33
・ スキャン選局	17	・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	34
・ FM放送が雑音で聞きにくいときは	17	・ 頭出しをする(スキップ)	34
・ 道路交通情報を聞く	18	・ 聞きたいディスクを選ぶ	34
・ 放送受信中の表示内容を変える	18	・ 聞きたいフォルダを選ぶ	35
● MDを聞く	19~24	・ 曲を10ずつダイレクトに選ぶ	35
・ MDを挿入するときは	19	・ 曲(ファイル)の選びかた	36
・ 長時間ステレオ再生について	19	・ いろいろな再生モードを使用する	36
・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	20	● 他の機器の音を聞く	38
・ 頭出しをする(スキップ)	20	● SELレバーを使った各種設定と調節	39~42
・ 聞きたいグループを選ぶ	20	・ PSMモードの設定方法	39
・ グループ機能について	20	・ PSMモードの一覧	40
・ ダイレクト演奏	21	・ PSMモードの機能説明(1)	41
・ 曲を10ずつダイレクトに選ぶ	21	・ PSMモードの機能説明(2)	42
・ 曲の選びかた	22	● DSPを使う	43~44
・ いろいろな再生モードを使用する	22	・ 音場を選ぶ	43
・ MD演奏中に表示内容を変える	24	・ DSPモードを詳細に調節する	44
・ MDを取り出す	24	● iEQを使う	45~46
・ MDの盗難防止	24	・ EQパターンを選ぶ	45
		・ 調節したEQを記憶(メモリー)させる	46

● 音量の調節 ^{ページ} 47~48	● 故障かな?と思う前に ... ^{ページ} 54~56
・ フェーダーやバランスを調節する ... 47	・ こんな表示のときは 55
・ BBEを使う 47	● 保証とアフターサービス 57
・ サブウーハーの音量を調節する 48	● 主な仕様 58
・ ソース(音源)ごとの音量差を調節する ... 48	● 文字配列表 59
● 文字の入力のしかた 49	● お手入れ 裏表紙
● 放送局名一覧 50~53	・ 本体の清掃 裏表紙
	・ CDのお手入れ 裏表紙

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節などの操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となることがあります。

手をはさまれないよう注意

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。



- ・他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れない。



- ・電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω~8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気が多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後、CD/MDを使用するときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲:0℃~+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCD/MDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1~2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

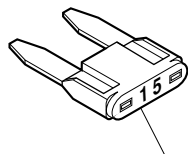
本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りになしてください。

既設のスピーカーコードスピーカーを利用するとき、左右のスピーカーコードマイナスの⊖側が車の金属部に接続されていたり⊖側同士が接続されていると故障の原因になります。

*BTL:Balanced Transformerlessバランスド トランスフォーマーレスの略
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



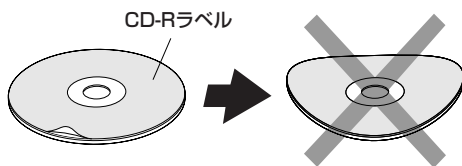
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中は交通安全のため携帯電話を使用しないでください。

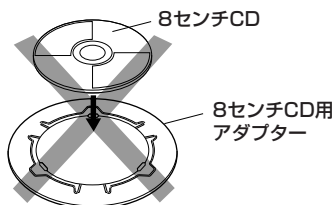
CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは**
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- **CD-R/CD-RWの取扱いについて**
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いので傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- **記録面に保護シールなどを張ったり、ラベル面にCD-Rラベルなどを張ったりしないでください。**
そのまま使用すると、CDが反って音飛びしたり取り出せなくなったり、故障の原因となります。



CD-Rラベルなどが張ってあると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って音飛びや演奏停止などを起こすことがあります。

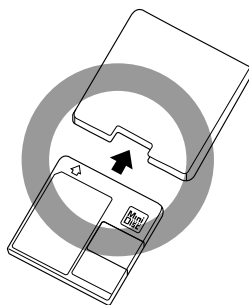
- **ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。**
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- **8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。**
8センチCDは、そのまま挿入してください。



- **CDを長時間使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。**

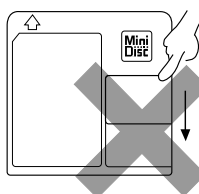
MDの取扱いについて

- **MDを保管するときは**



MDを本機から取り出して専用ケースに入れ、直射日光の当たる所やダッシュボードの上などは避けて保管してください。
MDが変形すると、故障の原因となります。

- **MDのシャッターについて**

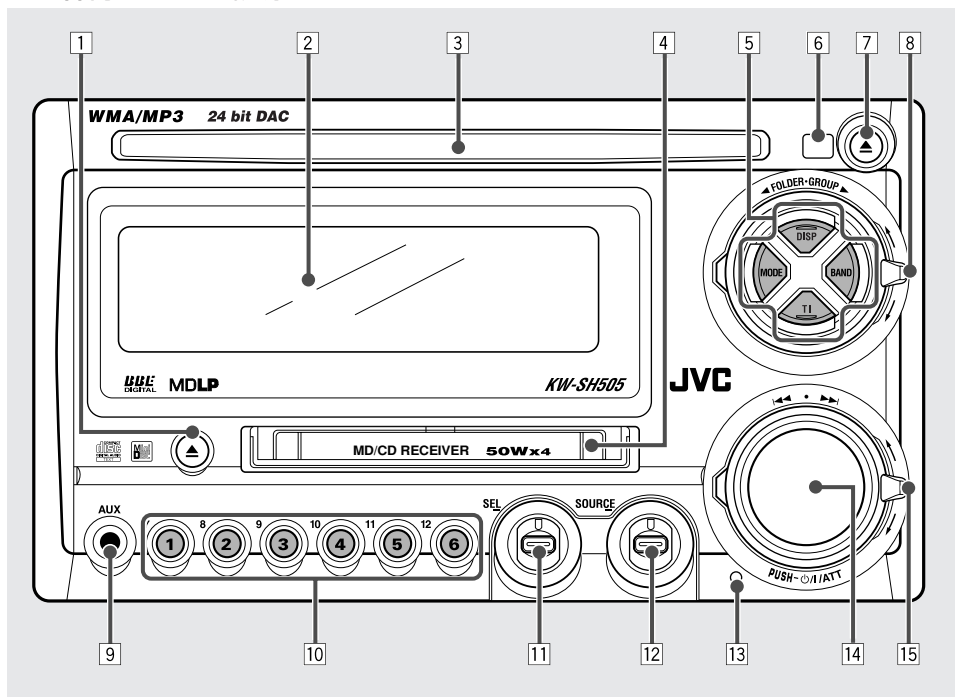


MDのシャッターは、開けられないようになっています。無理に開けると、MDが破損する原因となります。

- **MDにラベルを張ってお使いになる場合**
ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- **長時間MDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。**
- **定期的にお手入れを**
MDがほこりやゴミで汚れたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってから使用してください。

各部の名前

— ()内のページに説明があります。—



- 1 ▲(MD取出し)ボタン (19, 24)
MDを取り出すとき押します。
- 2 表示窓(ディスプレイ)
- 3 CD挿入口 (25)
- 4 MD挿入口 (19)
- 5 DISP(ディスプレイ)ボタン(18, 24, 31~33)
表示窓(ディスプレイ)の表示を変えるとき押します。
MODE(モード)ボタン (17, 21~23, 28, 30, 31, 35~37)
再生モードを切り換えるとき押します。
TI(交通情報)ボタン (18)
交通情報 (AM 1620kHzまたは1629kHz) を聞くととき押します。
BAND(バンド)ボタン (14)
ラジオのバンドを切り換えるとき押します。
FMのとき「FM1」↔「FM2」、AMのとき「AM1」↔「AM2」と切り換わります。
- 6 リモコン受光部(10)
- 7 ▲(CD取出し)ボタン(25, 32)
CDを取り出すとき押します。
- 8 ◀FOLDER・GROUP▶(フォルダ・グループ)レバー(20, 27, 35)
MP3/WMAディスクやMDの演奏中、フォルダやグループを選ぶとき押します。
- 9 フロントAUX端子(38)
ポータブルMDプレーヤーなどを接続するとき使います。
接続した他の機器の音声を聞くとときは、SOURCEレバー(12)で「AUX INPUT」を選びます。
- 10 数字ボタン
ソース(音源)によって使いかたが異なります。
・「ラジオ」のとき: 1~6が選べます。(16)
・「MD」「CD」「MP3/WMAディスク」「CDチェンジャー」のとき: 1~12が選べます。(21, 27, 34)

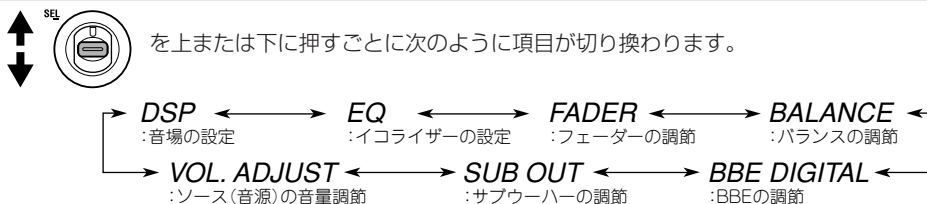
- 11 SEL(セレクト)レバー**
 ・上または下に押しすごとに、「DSP」、「EQ」、「FADER」など、音質を調節するメニューが表示されます。(43)
 ・2秒以上押しすと、PSMメニューが表示されます。(39)
- 12 SOURCE(ソース)レバー**
 上または下に押しすと、ソース(音源)が切り換わります。電源を「入」にすることもできます。(12)
- 13 リセットボタン**
 内蔵のマイコンをリセットするとき押しします。
 ・初めて電源を入れたとき
 ・どのボタンを押しても動作しなくなったとき
- 14 ㊦/ (電源) ボタン (12)**
 電源を「入/切」するとき押しします。「切」にするときは1秒以上押しします。
ATT(アッテネーター)ボタン (12)
 一時的に音量を下げるときに「ボン」と押しします。
回転ボリューム (12)
 ・音量を調節するとき回します。
 ・メニュー表示中は、設定値の調節をすることができます。
- 15 ◀▶▶▶レバー (13, 14, 20, 26, 34, 36, 39, 43, 46, 48, 49)**
 曲を選んだり、選局するとき上または下に押しします。

SELレバーとMODEボタンについて

本機では、SELレバー(11)やMODEボタン(5)を使って、様々な音質・音量調節や再生モードなどを選びます。

ここでは、それらの操作について簡単に説明します。

- SELレバーの操作—どのソース(音源)のときでも使えます。



- MODEボタンの操作—ソース(音源)によって操作できないものもあります。

MODEボタンを押すごとに次のように項目が切り換わります。

ソース(音源) MODEボタン	FM/AM	MD/CD/CD-CH	LINE INPUT/ AUX INPUT
1回押し	SSM 電波の強い放送局を自動選局します。	◀-10 +10▶ 10曲単位で選曲します。(*2)	—
2回押し	SCAN 放送局を順番に受信します。	REPEAT リピート演奏をします。	—
3回押し	MONO FMステレオ放送をモノラルにします。(*1)	RANDOM ランダム演奏をします。	—
4回押し	—	INTRO 順番にイントロだけ演奏します。	—

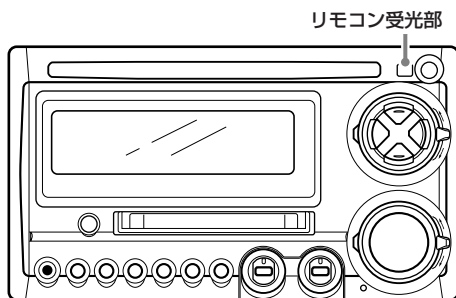
*1 ソース(音源)が「AM」のときは選べません。

*2 ソース(音源)が「CD-CH」のときは、MP3チェンジャーのときのみ選べます。

リモコン(RM-RK41 J:別売り)の使いかた

使用上の注意

- コントロールパネルのリモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- 別売りのリモコンに付属の電池は動作確認用です。
早めに新しい電池(CR 2025:市販品)と交換してください。

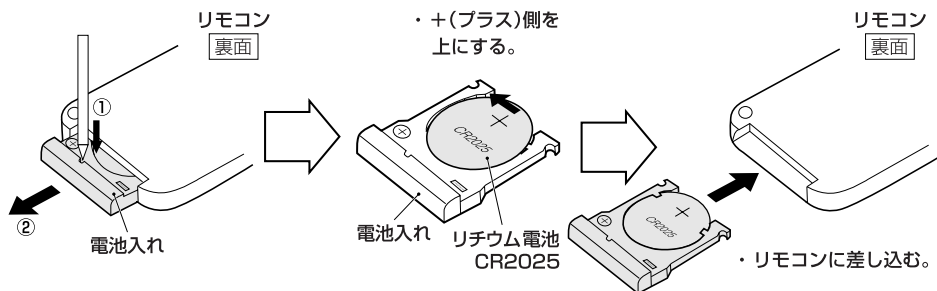


ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

電池の入れかた

ボールペンなどを電池入れの溝に入れて引き出す。

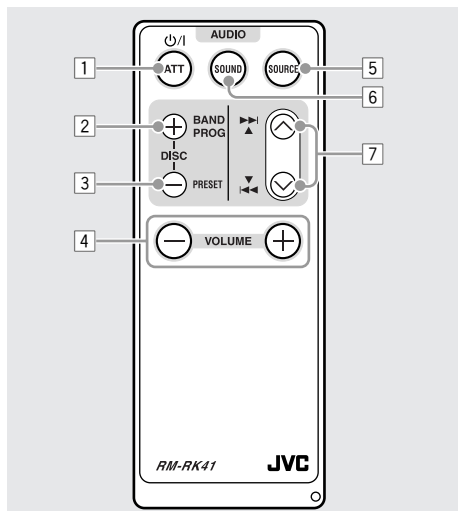


● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」にしたがって廃棄してください。

各部の名前



1 電源ボタン

電源を「入/切」するとき押します。「切」にするときは1秒以上押します。

ATT(アッテネーター)ボタン

一時的に音量を下げるときは「ボン」と押します。

2 DISC(ディスク)+/BAND(バンド)ボタン

ソース(音源)がラジオのとき:

バンドを選ぶとき使います。押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

→ FM1 → FM2 → AM1 → AM2

「CD-CH(チェンジャー)」のとき:

マガジン内のCDが選べます。

「PROG(プログラム)」の機能はありません

3 DISC(ディスク)-/PRESET(プリセット)ボタン

ラジオのとき:

プリセットしてある放送局(1ch~6ch)の選局ができます。

「CD-CH(チェンジャー)」のとき:

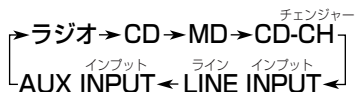
マガジン内のCDが選べます。

4 VOLUME(ボリューム)+/-ボタン

音量の調節ができます。

5 SOURCE(ソース)ボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。押すごとに、次のようにソース(音源)が切り換わります。



ラジオ:

FM放送またはAM放送を聞くととき選びます。前回選んでいた放送局が選ばれます。バンドを切り換えるときは、DISC(ディスク)+/BAND(バンド)ボタンを使います。

CD: CD/MP3/WMAディスクを聞くととき選びます。ディスクが入っていないときは、選べません。

MD: MDを聞くととき選びます。MDが入っていないときは、選べません。

CD-CH:

CDチェンジャー内のCDを聞くととき選びます。CDチェンジャーを接続しているとき選べます。

LINE INPUT:

本機に接続した他の機器の音声を聞くととき選びます。

AUX INPUT:

本機前面のフロントAUX端子に接続した他の機器の音声を聞くととき選びます。

6 SOUND(サウンド)ボタン

DSPやEQを使うとき押します。各モードはVOLUME(ボリューム)+/-ボタンで調節します。

7 電源/戻る/先戻し/先送りボタン

「FM」または「AM」のとき:

選局(自動選局)ができます。

「CD」、「CD-CH(チェンジャー)」、「MD」またはMP3/WMAディスクのとき:

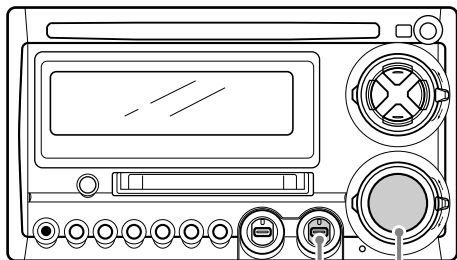
曲(ファイル)の頭出しや早送り、早戻しができます。

(▲と▼の機能はありません)

基本操作

準備

- 車のエンジンをかける。本機はエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません。



2 1-3

1 を押して電源を「入」にする



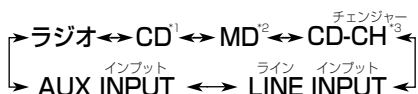
表示窓が点灯し、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はTUNER(ラジオ)の「FM1」…が表示されます。

2 SOURCEレバーを上または下に押してソース(音源)を選ぶ



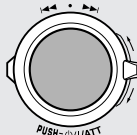
SOURCEレバーを押すごとに次のようにソース(音源)が切り換わります。

- 電源を「入」にすることもできます。



- *1 本機にCDが入っているとき表示されます。
- *2 本機にMDが入っているとき表示されます。
- *3 本機にCDチェンジャーを接続しているとき選べます。

3 を回して音量を調節する



調節範囲: VOLUME 00 ~ VOLUME 50*4
(初期設定 VOLUME 15)

- *4 アンブゲインを「LOW」に設定すると VOLUME 00 ~ VOLUME 30に変わります。(⇒ 42ページ)

- 音量を一時的に下げる



を「ボン」と押します。

「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- 電源を「切」にする



を1秒以上押します。

- 車のエンジンキーが「OFF」でも次のボタンは、操作ができます。

⊕ : ▲(CD取出し)ボタン
▲(MD取出し)ボタン

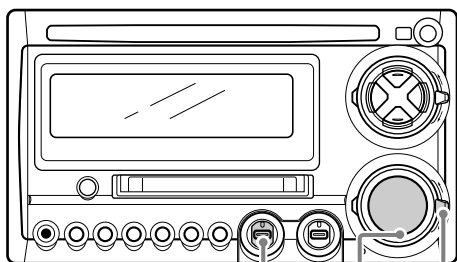
ただし、電源を「入」にすることはできません。

〈お知らせ〉

- フェーダーとバランスの音量調節は47ページをご覧ください。

時計を合わせる

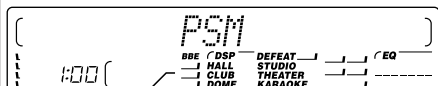
- 各操作には時間制限があります。15秒以上間隔を空けないで次の操作を行ってください。



1-6 3-5 2-4

1 SELレバーを上または下に2秒以上押す

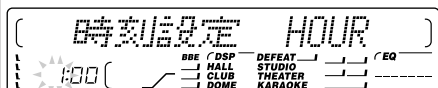
表示窓に「PSM」が表示されます。



15秒以内に

2 を上または下に押して「時刻設定 HOUR」を表示させる

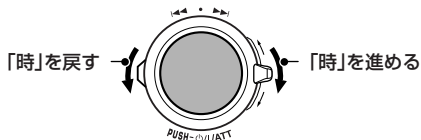
「時」表示が点滅します。



15秒以内に

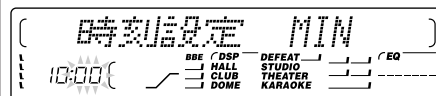
3 を回して「時」を合わせる

12時間表示方式です。



4 を下に押して「時刻設定 MIN」を表示させる

「分」表示が点滅します。



- レバーを上を押すと、「時」を合わせる表示に戻ります。

15秒以内に

5 を回して「分」を合わせる

「分」を戻す ← 「分」を進める

15秒以内に

6 SELレバーを上または下に押す

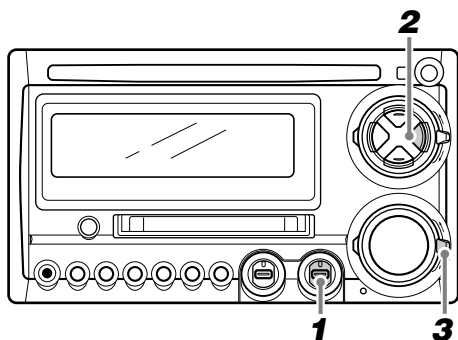
元のソース(音源)の表示に戻ります。
SELレバーを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~6の操作をします。
- 電源「切」のときも時計を表示させたいときは、**39~41**ページをご覧ください。
- SELレバーを使ってその他の設定を変更したいときは、**39~42**ページをご覧ください。

ラジオを聞く

放送局を選ぶ

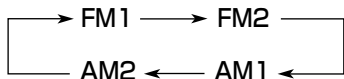


1 SOURCEレバーを上または下に押してソース(音源)をラジオにする

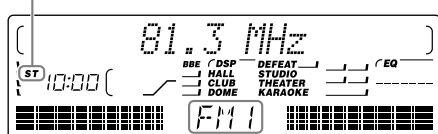
「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のいずれかを表示させます。

2 BANDを押してバンドを選ぶ

BANDを押すごとに、バンドが次のように切り換わります。

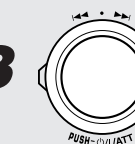


FMステレオ放送を受信すると点灯します。

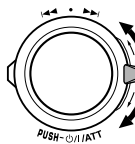


現在のバンドが表示されます。

3 を上または下に押し
して選局する



周波数が下がります。



周波数が上がります。

選局について

- オート選局(シーク):
◀◀◀▶▶▶レバーを「チョン」と押して離す。
「SEEK」が表示され、本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- マニュアル選局:
◀◀◀▶▶▶レバーを1秒以上押し
「M. SEEK」が表示されてから、「チョン・チョン」と押して選局する。
 - ・ FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

お知らせ

- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。このようなときは、もう一度◀◀◀▶▶▶レバーを上または下に押ししてください。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

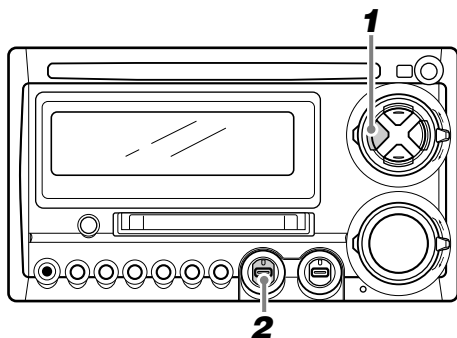
アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、アンテナコントロール電源コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)をラジオにすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。「CD-CH」や「CD」などにソース(音源)を切り換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。(アンテナコントロール電源コードの最大コントロール電流は250mAです)

放送局を自動で記憶(メモリー)させる

電波の強い放送局を自動選局し記憶させることができます(SSM…ストロングステーションメモリー機能)。

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドに記憶してあった放送局は取り消されます。



〈お知らせ〉

- 放送局が6局より少ないときは、記憶されなかった番号には以前の記憶内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまく記憶されないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます(➡ 16ページ)。

1 放送受信中に を押す

「SSM」が表示されます。



2 SELレバーを上または下に「ポン」と押す

自動選局が始まり、周波数の低い順に最大6つまでの放送局を数字ボタンの1~6に記憶していきます。

すべての記憶が終わると、数字ボタンの「1」に記憶された放送局が表示されます。

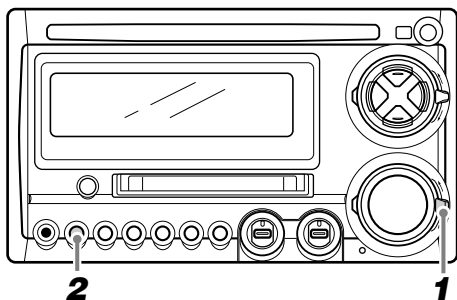
ラジオを聞く(つづき)

放送局を選んで記憶(メモリー)させる

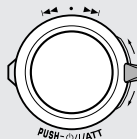
SSM機能を使って自動で記憶するほかに、放送局を選んでから1局ずつ手動で記憶させることができます。

- 数字ボタンの記憶順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに便利です。
- この操作は、SSM機能で放送局を記憶させた後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、記憶させた内容が取り消されることがあります。

例: FM放送の81.3 MHzを数字ボタン「1」に記憶させる



1



を上または下に
押してFM81.3
MHzを選局する

「放送局を選ぶ」(⇒ 14ページ)をご覧ください。

2

① を2秒以上押す

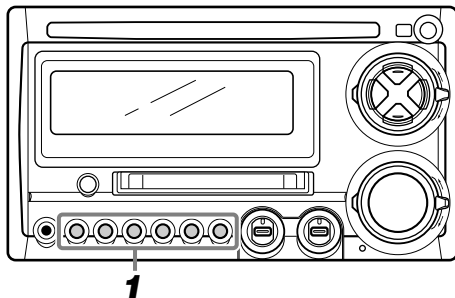
「P1」が点滅表示され、放送局が記憶されます。

〈お知らせ〉

- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いと記憶されません。

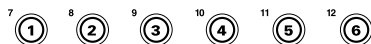
放送局を呼び出す(プリセット選局)

数字ボタン1~6に記憶されている放送局をワンタッチで選局することができます。



1

数字ボタンの1~6のいずれかを押し選局する

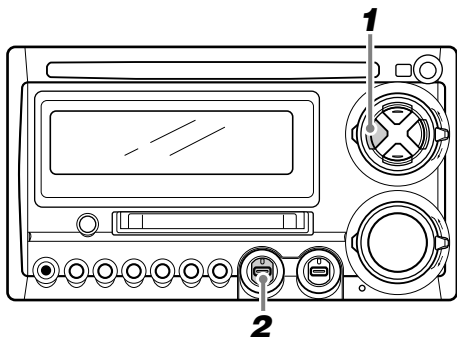


〈お知らせ〉

- 数字ボタンは2秒以上押し続けなくてください。

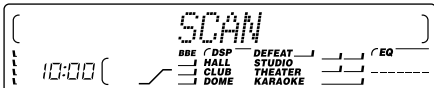
スキャン選局

放送局を探すときに使います。



1 放送受信中に を2回押す

「SCAN」が表示されます。



5秒以内に

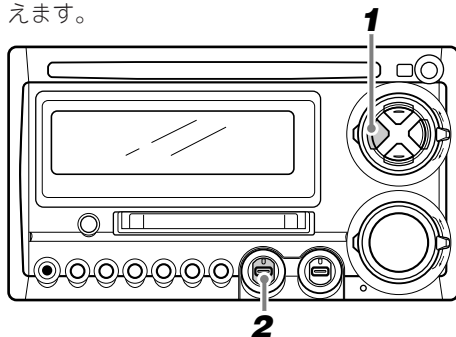
2 SELレバーを上または下に押す

自動的に周波数が高い方に移動し、放送局を探します。

放送を受信するごとにその周波数が点滅表示され、約5秒間聞くことができます。聞きたい放送局のときはもう一度MODEボタンを押します。スキャン選局が終了し、その放送を引き続き聞くことができます。

FM放送が雑音で聞きにくいときは

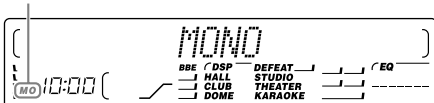
FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送のモードを切り換えます。



1 FM放送受信中に を3回押す

「MONO」が表示されます。

MO表示



5秒以内に

2 SELレバーを上または下に押す

レベルメーター部がカウントダウン表示(5秒間)になり、SELレバーを押すごとに「MONO ON」と「MONO OFF」が交互に切り換わります。

MONO ON : FM放送はモノラル受信となり雑音が少ないになります。通常の表示に戻ると表示窓にMO表示が点灯します。

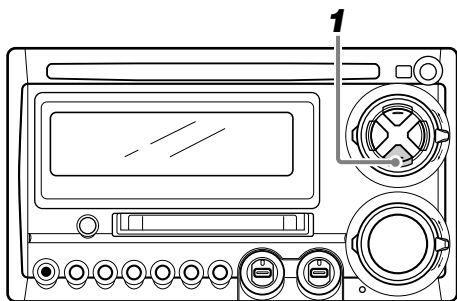
MONO OFF : FM放送はステレオ受信になります。通常の表示に戻ると表示窓にST表示が点灯します。

5秒間何も操作しないと、通常の表示に戻ります。

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く

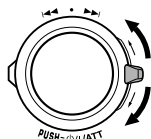
高速道路などの特定地域では、AM1620kHzで道路交通情報を聞くことができます。



1 を押す

聞きたいところでTIボタンを押すと、ソース(音源)に関係なくAM1620kHzが受信できます。

AM1629kHzで道路交通情報を放送しているときは:



を上または下に押し
ます。もう一度押すと
AM1620kHzに戻り
ます。

元のソース(音源)に戻るときは:

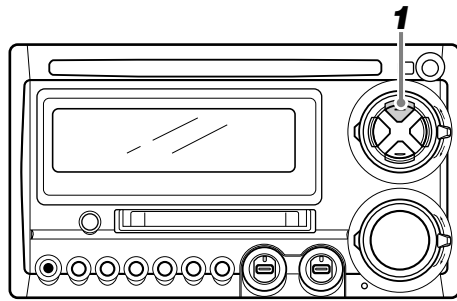
もう一度  を押します。

〈お知らせ〉

- AM1620kHzまたは1629kHzに放送局名が入力されているとき(➡ 49ページ)は、TIボタンを押して道路交通情報を聞いている状態では、入力した放送局名は表示されません。
- TIボタンを押して道路交通情報を聞いているときは、他のソース(音源)とは独立して音量調節ができますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。
もう一度TIボタンを押して元のソース(音源)に戻すと、音量も元に戻ります。

放送受信中の表示内容を変える

放送受信中に、表示を変えることができます。



1 を押す

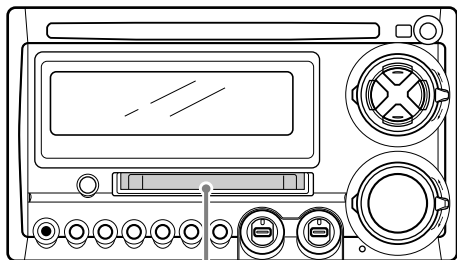
ボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。

ソース(音源)表示 ←→ 放送局名表示

〈お知らせ〉

- 放送局名は41ページの「ステーションエリア」の操作で「ご利用の地域」を設定すると表示されます。「ご利用の地域」を設定する前は「NO NAME」と表示されます。なお、放送局名はスクロール表示されません。

MDを聞く

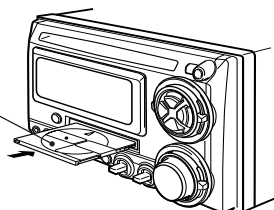


1

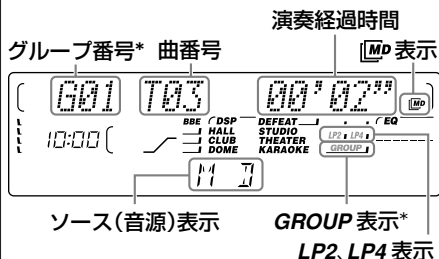
1 MDを入れる

途中まで入れると、自動で中に引き込まれます。

ラベル面を上
にします



ソース(音源)が「MD」になり「— PLAY」が表示され、MDの読み込みが始まります。読み込みが終わると、演奏が始まります。



* 曲がグループに含まれるとき表示されます。

演奏を止めるまで、すべての曲がくり返し演奏されます。

演奏を止める: (MD取出し) を押してMDを取り出すか、ソース(音源)を切り換えます。

MDを挿入するときは

- 故障を防止するため次のことを確認してください。
 - ・ラベル面を上にする。
 - ・挿入方向を表す表示(⇒/▷)にしたがって、本体に入れる。
 - ・無理に押し込まない。
(途中まで入れると、自動で中に引き込まれます)
 - ・ラベルのはがれかかったMDは使用しない。

長時間ステレオ再生について

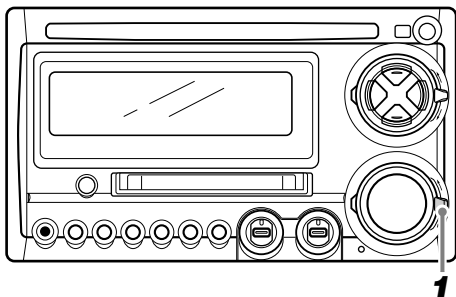
本機はMDLPに対応しています。音声データを高精度圧縮技術ATRAC3で録音済みのMDの場合、LP4モードは最長320分、LP2モードは最長160分の長時間ステレオ再生が可能です(MD80使用時)。LP2またはLP4で録音したMDを演奏すると、表示窓に「LP2」または「LP4」が表示されます。MDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDは、SP(標準)モードで再生できません(SPの表示はありません)。

〈お知らせ〉

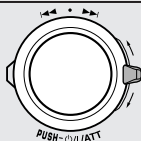
- MD演奏中に本機の電源を「切」にしたときは、電源を「入」にすると自動的に演奏が始まります。
- モノラル2倍長録音したMDは、自動的にモノラルで再生されます。
- データ用MDについて
データ用MDは再生できません。音楽用のMDを使用してください。
- 表示窓の表示内容については、24ページの「MD演奏中の表示内容を変える」をご覧ください。

MDを聞く(つづき)

早送り/早戻しをする(サーチ)

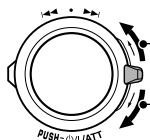


1



を上または下に
押し続ける

押し続けている間、演奏中の音が小さくなり、早送りまたは早戻し再生になります。指を離すと、通常の演奏に戻ります。

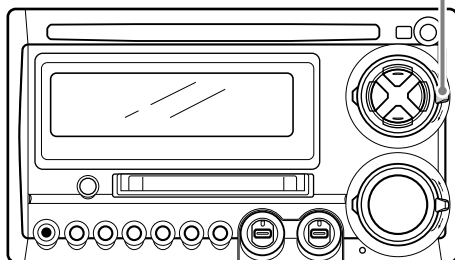


早戻しになります。

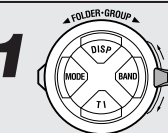
早送りになります。

聞きたいグループを選ぶ

選んだグループの頭の曲から聞くことができます(グループスキップ)。

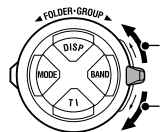


1



を上または下に
押す

押すごとに次のグループの頭の曲、演奏中のグループの頭または前のグループの頭の曲にスキップします。

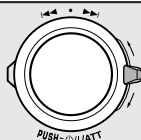


演奏中のグループまたは前のグループの頭の曲に戻ります。

次のグループの頭の曲に進みます。

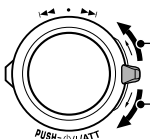
頭出しをする(スキップ)

1



を上または下に
押す

押すごとに次の曲、演奏中の曲または前の曲の頭にスキップします。



演奏中の曲の頭または前の曲の頭に戻ります。

次の曲の頭に進みます。

グループ機能について

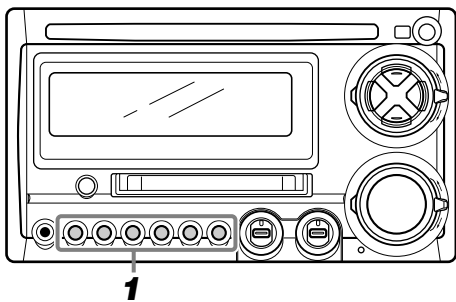
ミニコンボなどでステレオ長時間録音(MDLP)するとき、収録曲をCDごとやアーティストごとなど、いくつかのグループに分けておくと、素早く選曲できます。

グループごとに録音した例

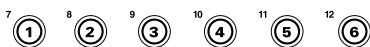
グループ1			グループ2		
曲番号			曲番号		
①	②	③	④	⑤	⑥ ...

ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。



1 数字ボタン(1~6)を押す



- 1~6曲目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ポン」と押します。

例: 3曲目を選ぶ

- 3を「ポン」と押します。

- 7~12曲目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

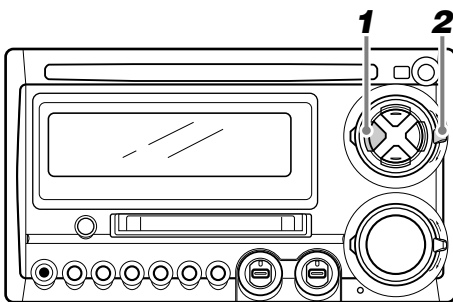
例: 12曲目を選ぶ

- 12を1秒以上押します。

- 13曲目以上を選ぶときは、右の「曲を10ずつダイレクトに選ぶ」をご覧ください。

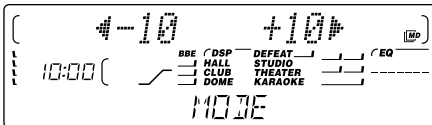
曲を10ずつダイレクトに選ぶ

10曲単位で曲を飛ばして、聞きたい曲が素早くダイレクトに選べます。



1 MODEを押す

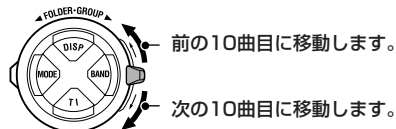
「4-10 +10#」が表示されます。



5秒以内に

2 を上または下に押し曲を選ぶ

もっとも近い10の倍数(10, 20, 30...)の曲番号に変わります。その後はボタンを押すごとに、10ずつ曲番号が変わります。




- 22ページの「曲の選びかた」もご覧ください。

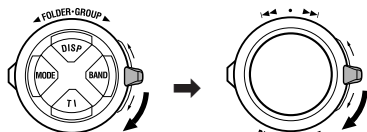
MDを聞く(つづき)

曲の選びかた

10曲ずつ移動する方法と、1曲ずつ移動する方法を組み合わせて、目的の曲番号を素早く選びます。

例：曲番号6の演奏中に曲番号32を選ぶときは

 を押して「4-10 +10」表示中(5秒以内に)




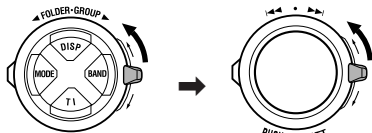
(下に3回押す)

(下に2回押す)

曲番号が、6 → 10、20、30 → 31、32と移動します。

例：曲番号36の演奏中に曲番号8を選ぶときは

 を押して「4-10 +10」表示中(5秒以内に)



(上に3回押す)

(上に2回押す)

曲番号が、36 → 30、20、10 → 9、8と移動します。

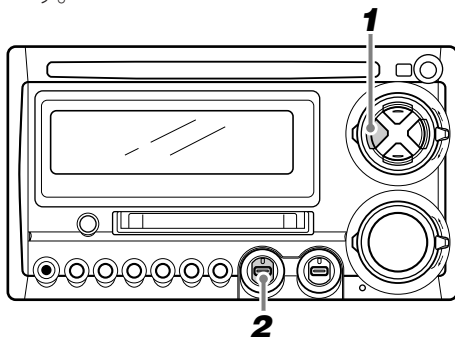
〈お知らせ〉

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- 最後の曲まで移動した後に次の曲を選ぶと、最初の曲に戻ります。
- 10曲ずつ移動するときは、各レバーを押す間隔を2秒以上空けないでください。

いろいろな再生モードを使用する

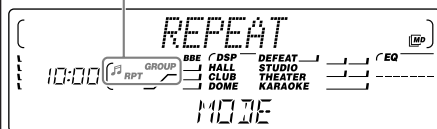
● リピート演奏

演奏中の曲をくり返し聞くことができます。




1  を2回押す

「REPEAT」が表示されます。
リピート演奏表示



5秒以内に

2  レバーを上または下に押してリピート演奏のモードを選ぶ

TRACK REPEAT (RPT が点灯) : 演奏中の曲のくり返し演奏

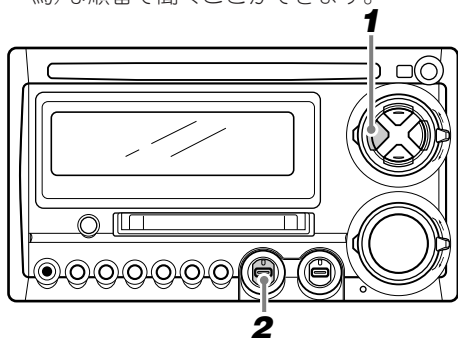
GROUP REPEAT* (RPT GROUP が点灯) : 演奏中のグループの全曲くり返し演奏

REPEAT OFF : リピート演奏解除

* 演奏中の曲がグループに含まれるときのみ表示されます。

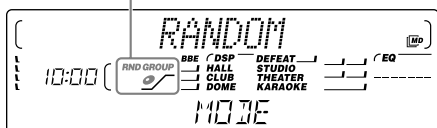
● ランダム演奏

MDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



1 を3回押す

「RANDOM」が表示されます。
ランダム演奏表示



5秒以内に

2 SELレバーを上または下に押してランダム演奏のモードを選ぶ

→ **GROUP RANDOM*** : 演奏中のグループ内のランダム演奏
(RND GROUP が点灯)

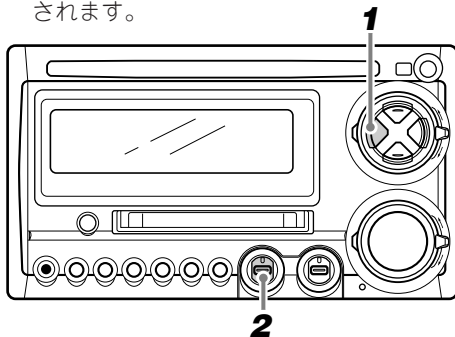
↓
DISC RANDOM : 演奏中のMDの全曲ランダム演奏
(RND が点灯)

↓
RANDOM OFF : ランダム演奏解除

* 演奏中の曲がグループに含まれるときのみ表示されます。

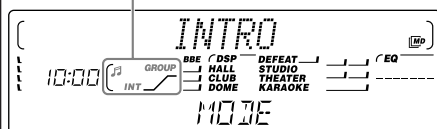
● イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。一通りイントロスキャンが終わると解除されます。



1 を4回押す

「INTRO」が表示されます。
イントロスキャン表示



5秒以内に

2 SELレバーを上または下に押してイントロスキャンのモードを選ぶ

→ **TRACK INTRO** : 全曲を順番にイントロスキャン
(INT が点灯)

↓
GROUP INTRO* : 全グループの1曲目をイントロスキャン
(INT GROUP が点灯)

↓
INTRO OFF : イントロスキャン解除

聞きたい曲が見つかったら、◀◀▶▶レバーを上を押します。

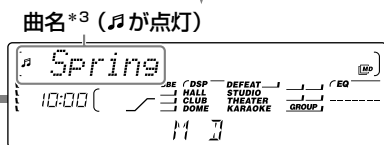
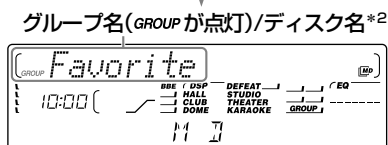
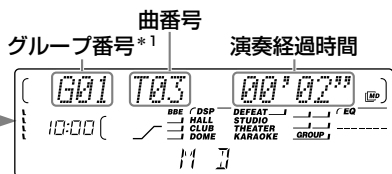
* 演奏中の曲がグループに含まれるときのみ表示されます。

MDを聞く(つづき)

MD演奏中に表示内容を変える

1 DISPを押す

ボタンを押すごとに、次のように表示内容が切り換わります。



*1 トラックがグループに含まれるとき表示されます。

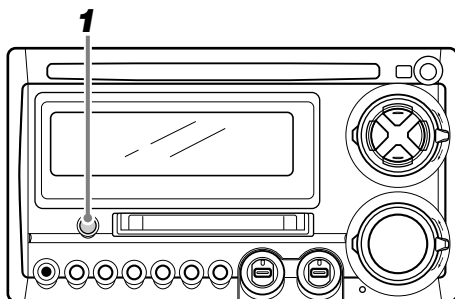
*2 グループ分けされていないMDではディスク名のみ、ディスク名が記録されていないときは、グループ名のみ表示されます。両方が記録されていないときは、「NO NAME」と表示されます。

*3 曲名が記録されていないときは、「NO NAME」と表示されます。

〈お知らせ〉

- ディスク名や曲名は、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字で表示されます。一部の記号などは正しく表示されない場合があります。
- ディスク名や曲名は、文字数によってはスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押ししたときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする設定「ONCE」(お買い上げ時の状態)になっています。「AUTO」(自動)または「OFF」(切)に変えることもできます(→ 41ページ)。

MDを取り出す



1 (EJECT)を押す

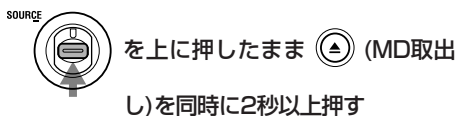
「EJECT」が表示され、MDが出てきます。MDを入れる前のソース(音源)に戻ります。

〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでも、本機の電源が一時的に「入」になりMDが出てきます。MDが出てきたあと自動的に電源が「切」になります。

MDの盗難防止

本機に挿入したMDを取り出せなくすることができます。

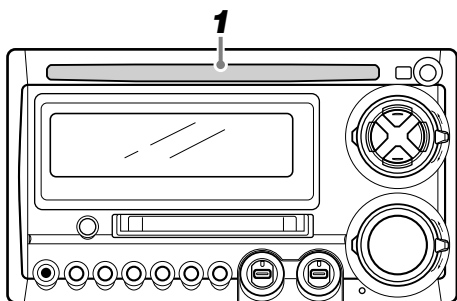


「MD NO EJECT」が点滅表示され、MDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると「EJECT OK」が点滅表示され、MDの取り出しができるようになります。

〈お知らせ〉

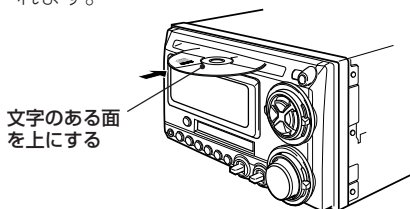
- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く

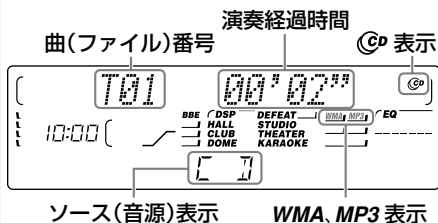


1 CDを入れる

途中まで入れると、自動で中に引き込まれます。



ソース(音源)が「CD」になり「**---** PLAY」が表示され、CDの読み込みが始まります。読み込みが終わると演奏が始まります。



演奏を止めるまで、すべての曲がくり返し演奏されます。

演奏を止める: (⏏) (CD取出し)を押してCDを取り出すか、ソース(音源)を切り換えます。

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。

〈お知らせ〉

- 文字のある面に次のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。



- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- 「**---** Play」表示中は、ディスクを読み込んでいます。読み込みが終わると、演奏が始まります。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかりります。
- ▲(CD取出し)ボタンを押すとCDが出てきます。このときCDを取らずにそのままにしておくと15秒後に再び中に引き込まれます。このとき、CDの演奏は始まりません。

MP3/WMAディスクについて

- MP3/WMA*ディスクを読み込んだときは、「**---** PLAY」のあと、「FILE CHECK」が点滅表示されます。多くの階層を持つディスク(本機は、8階層まで対応)やCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは演奏が始まるまで時間がかりります。
- MP3ファイルの演奏中はMP3表示が、WMAファイルの演奏中は、WMA表示が点灯します。
- 現在のMP3/WMAディスクの最上階層のフォルダのことをルートと言い、本機では「ROOT」と表示されます。
- 同一階層内のフォルダやファイルは、ライティングソフトによってMP3/WMAディスクに書き込まれた順序で演奏されます。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるためフォルダ名、ファイル名の初めに数字(01A、01B…など)をつけると、演奏順序を指定できることがあります。

* WMA (Windows Media® Audioの略)は、米国Microsoft社の開発した音声圧縮フォーマットです。

〈お知らせ〉

- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイルMP3/WMAについて」もご覧ください。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用CDフォーマットで記録されたディスクおよびISO9660フォーマットで記録されているディスク上のMP3/WMAファイルが演奏できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては演奏できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して演奏できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/CD-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

〈お知らせ〉

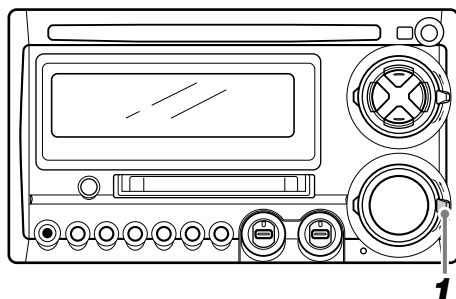
- 全角文字は全角で、半角文字は半角で表示されます。
(シフトJIS第三水準以上の文字は表示されません)

CDテキストについて



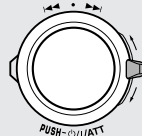
本機でCDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字および漢字で「CDテキスト」データを表示します。

早送り/早戻しをする(サーチ)

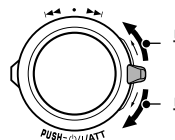


1

1 を上または下に押し続ける



押し続けている間、演奏中の音が小さくなり、早送りまたは早戻し再生になります。指を離すと、通常の演奏に戻ります。

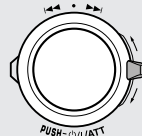


早戻しになります。

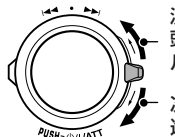
早送りになります。

頭出しをする(スキップ)

1 を上または下に押す



押すごとに次の曲(ファイル)、演奏中の曲(ファイル)または前の曲(ファイル)の頭にスキップします。



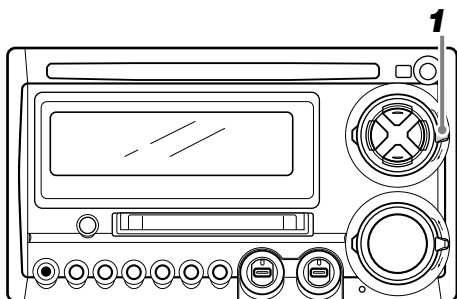
演奏中の曲(ファイル)の頭または前の曲(ファイル)の頭にに戻ります。

次の曲(ファイル)の頭に進みます。

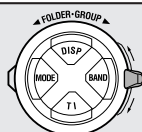
聞きたいフォルダを選ぶ

選んだフォルダの頭の曲から聞くことができます(フォルダスキップ)。

MP3/WMA ディスクの場合のみ

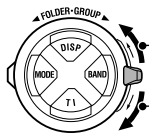


1



を上または下に
押す

押すごとに次のフォルダの頭の曲(ファイル)、演奏中のフォルダの頭または前のフォルダの頭の曲(ファイル)にスキップします。



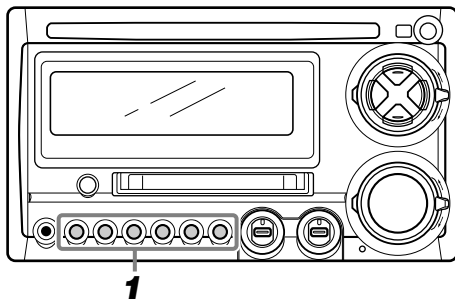
演奏中のフォルダまたは
前のフォルダの頭の曲
(ファイル)に戻ります。

次のフォルダの頭の曲
(ファイル)に進みます。

ダイレクト演奏

演奏中に別の曲(ファイル)がダイレクトに選べます。

音楽用CDの場合のみ



1 数字ボタン(1~6)を押す



- 1~6曲目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ポン」と押します。

例: 3曲目を選ぶ

⁹ ③ を「ポン」と押します。

- 7~12曲目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

例: 12曲目を選ぶ

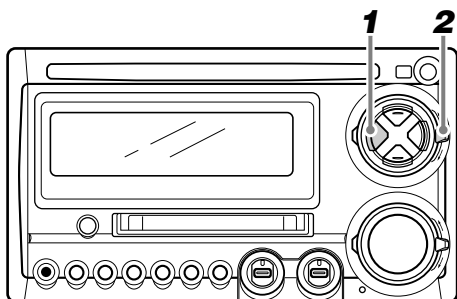
¹² ⑥ を1秒以上押します。

- 13曲目以上を選ぶときは、**28**ページの「曲を10ずつダイレクトに選ぶ」をご覧ください。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

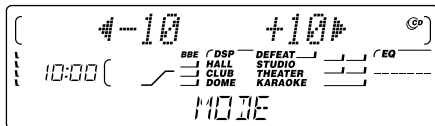
曲を10ずつダイレクトに選ぶ

10曲単位で曲(ファイル)を飛ばして、聞きたい曲(ファイル)が素早くダイレクトに選べます。



1 MODE を押す

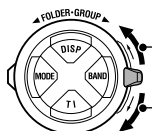
「4-10 +10」が表示されます。



5秒以内に

2 を上または下に 押して曲(ファイル)を選ぶ

もっとも近い10の倍数(10、20、30...)の曲(ファイル)番号に変わります。その後はボタンを押すごとに、10ずつ曲(ファイル)番号が変わります。



前の10曲目に移動します。

次の10曲目に移動します。

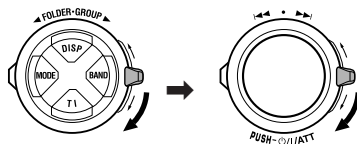
- 右の「曲(ファイル)の選びかた」もご覧ください。

曲(ファイル)の選びかた

10曲ずつ移動する方法と、1曲ずつ移動する方法を組み合わせ、目的の曲(ファイル)番号を素早く選びます。

例: 曲番号6の演奏中に曲番号32を選ぶときは

MODE を押して「4-10 +10」表示中(5秒以内)に



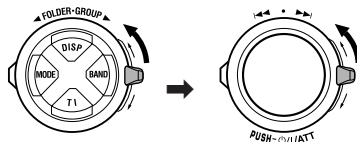
(下に3回押す)

(下に2回押す)

曲番号が、6 → 10、20、30 → 31、32と移動します。

例: 曲番号36の演奏中に曲番号8を選ぶときは

MODE を押して「4-10 +10」表示中(5秒以内)に



(上に3回押す)

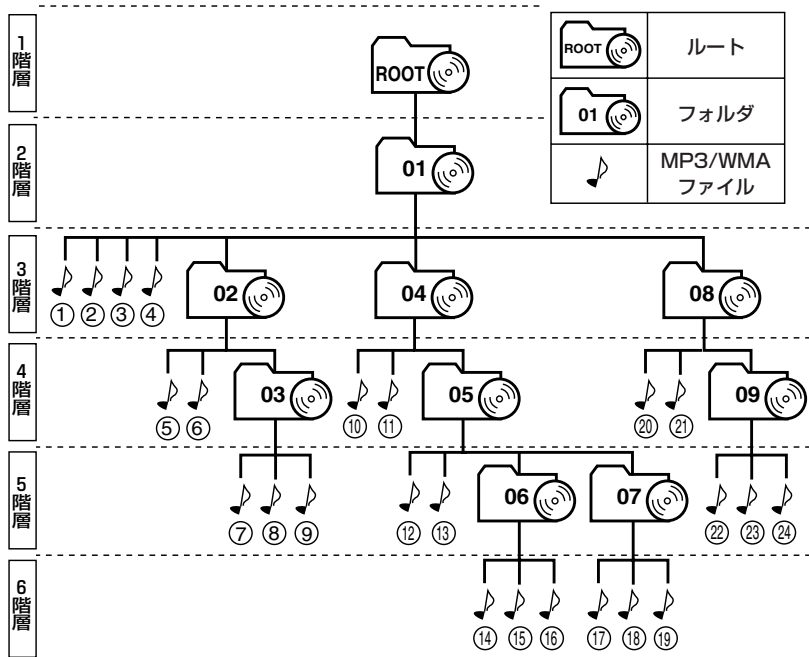
(上に2回押す)

曲番号が、36 → 30、20、10 → 9、8と移動します。

〈お知らせ〉

- 曲(ファイル)数が10曲に足りないときは、最後の曲(ファイル)が選ばれます。
- 最後の曲まで移動した後に次の曲を選ぶと、最初の曲に戻ります。
- 10曲ずつ移動するときは、各レバーを押す間隔を2秒以上空けないでください。

MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序

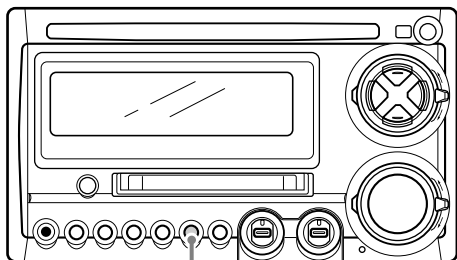


ダイレクトフォルダアクセス機能

聞きたいファイルのフォルダがダイレクトに選べます。

この機能を使うためには、あらかじめフォルダの名前の最初の2文字に「01」から「12」までの数字をつけておきます。

MP3/WMA ディスクの場合のみ



1a・1b

- フォルダ名「05ABC」を選ぶとき

1a を押す

フォルダ「05ABC」の最初のファイルの演奏が始まります。

- フォルダ名「11WXYZ」を選ぶとき

1b を1秒以上押す

フォルダ「11WXYZ」の最初のファイルの演奏が始まります。

〈お知らせ〉

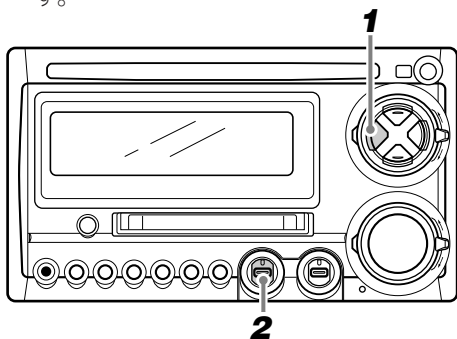
- 選んだフォルダにMP3/WMAファイルが含まれないときは「」が点滅し、演奏が始まりません。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

いろいろな再生モードを使用する

●リピート演奏

演奏中の曲をくり返し聞くことができます。



1 MODE を2回押す

「REPEAT」が表示されます。

リピート演奏表示



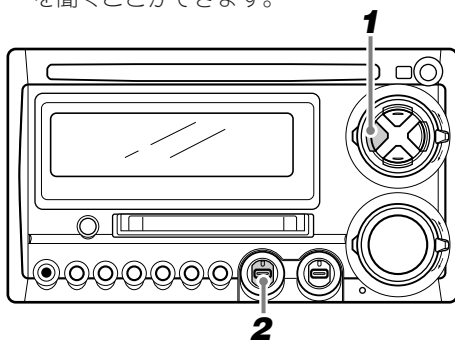
5秒以内に

2 SELレバーを上または下に押してリピート演奏のモードを選ぶ

- **TRACK REPEAT** (RPTが点灯) : 演奏中の曲(ファイル)のくり返し演奏
- ↓
- **FOLDER REPEAT*** (RPTが点灯) : 演奏中のフォルダの全ファイルくり返し演奏
- ↓
- **REPEAT OFF** : リピート演奏解除

●ランダム演奏

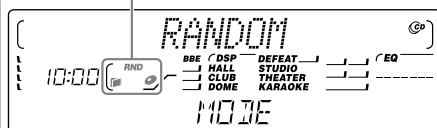
ランダム(無作為)な順番で曲(ファイル)を聞くことができます。



1 MODE を3回押す

「RANDOM」が表示されます。

ランダム演奏表示



5秒以内に

2 SELレバーを上または下に押してランダム演奏のモードを選ぶ

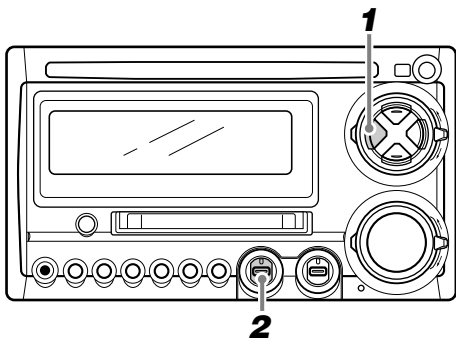
- **FOLDER RANDOM*** (RNDが点灯) : 演奏中のフォルダ内のランダム演奏
- ↓
- **DISC RANDOM** (RNDが点灯) : 演奏中のCDの全曲(ファイル)ランダム演奏
- ↓
- **RANDOM OFF** : ランダム演奏解除

* MP3/WMAディスクのとき表示されます。

* MP3/WMAディスクのとき表示されます。

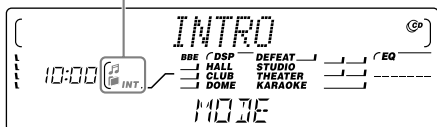
●イントロスキャン

聞きたい曲(ファイル)が素早く探せます。曲(ファイル)の頭を15秒ずつ演奏していきます。一通りイントロスキャンが終わると解除されます。



1 DISP を4回押す

「INTRO」が表示されます。
イントロスキャン表示



5秒以内に

2 SEL レバーを上または下に押してイントロスキャンのモードを選ぶ

TRACK INTRO (INT が点灯) : 演奏中のCDの全曲(ファイル)を順番にイントロスキャン

FOLDER INTRO* (INT が点灯) : 全フォルダの1ファイル目をイントロスキャン

INTRO OFF : イントロスキャン解除

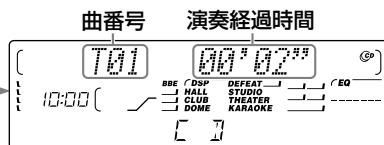
聞きたい曲が見つかったら、◀◀ ▶▶ レバーを上を押します。

CD演奏中に表示内容を変える

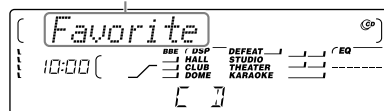
音楽用CD のとき

1 DISP を押す

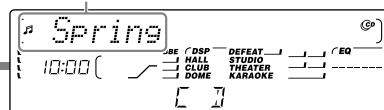
ボタンを押すごとに、次のように表示内容が切り換わります。



ディスク名*



曲名* (♪が点灯)



* ディスク名や曲名が記録されていないときは、「NO NAME」と表示されます。

〈お知らせ〉

- ディスク名や曲名は、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字で表示されます。一部の記号などは正しく表示されない場合があります。
- ディスク名や曲名は、文字数によってはスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする設定「ONCE」(お買い上げ時の状態)になっています。「AUTO」(自動)または「OFF」(切)に変えることもできます(→ 41ページ)。

* MP3/WMAディスクのとき表示されます。

音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く(つづき)

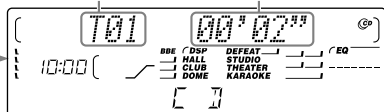
CD演奏中に表示内容を変える(つづき)

MP3/WMA ディスクのとき

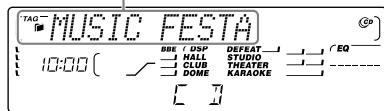
1 を押す

ボタンを押すごとに、次のように表示内容が切り換わります。

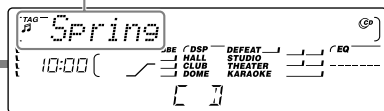
ファイル番号 演奏経過時間



アルバム名/アーティスト名*(TAGが点灯)
またはフォルダ名(■が点灯)



曲名*(♪が点灯)または
ファイル名(♯が点灯)

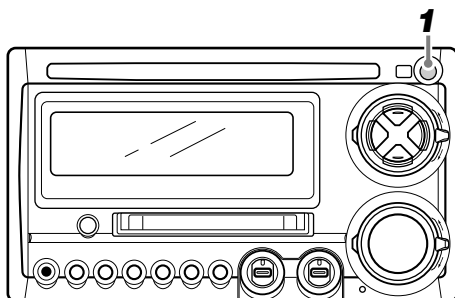


* 「TAG DISP」設定(⇒ 41ページ)を「ON」にしているとき、Tag情報のあるファイルの演奏中に表示されます。Tag情報がないときは、「NO NAME」と表示されます。

〈お知らせ〉

- ディスク名や曲名は、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字で表示されます。一部の記号などは正しく表示されない場合があります。
- ディスク名や曲名は、文字数によってはスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押ししたときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする設定「ONCE」(お買い上げ時の状態)になっています。「AUTO」(自動)または「OFF」(切)に変えることもできます(⇒ 41ページ)。

CDを取り出す



1 (CD取出し)を押す

「EJECT」が表示され、CDが出てきます。CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。
・ CDを取らずにそのままにしておく
15秒後に再び中に引き込まれます。このとき、CDの演奏は始まりません。

〈お知らせ〉


- エンジンキーが「OFF」のときでも、本機の電源が一時的に「入」になりCDが出てきます。CDを取り出すと自動的に電源が「切」になります。15秒間CDを取り出さないでそのままにしておく、CDが中に引き込まれ、電源が「切」になります。

CDの盗難防止

本機に挿入したCDを取り出せなくすることができます。

SOURCE



を上に押したまま  (CD取出し)を同時に2秒以上押す

「CD NO EJECT」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると「EJECT OK」が点滅表示され、CDの取り出しができるようになります。

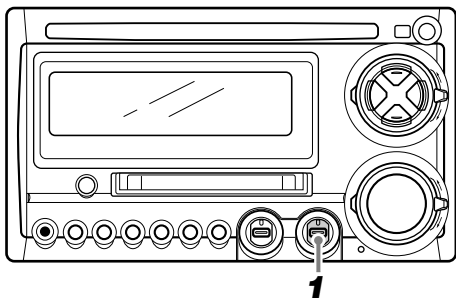
〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く

- 準備**
- CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



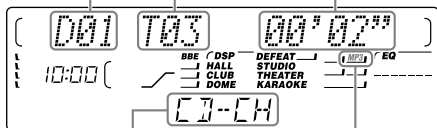
- 1**
- SOURCE**
- SOURCE**レバーを上または下に押してソース(音源)を「CD-CH」にする

最初のCDの1曲(ファイル)目から演奏が始まります。

曲(ファイル)番号

ディスク番号

演奏経過時間



ソース(音源)表示

MP3表示

演奏を止めるまで、すべてのディスクの全ての曲(ファイル)がくり返し演奏されます。

演奏を止める:

- SOURCE**
- SOURCE**レバーを上または下に押して他のソース(音源)に切り換えるか、または電源を「切」にします。

- 本機でコントロールできるチェンジャーについて
 - CH-MPシリーズのMP3チェンジャー
 - CH-XシリーズのCDチェンジャー(CH-X99を除く)
- KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。

＜お知らせ＞

- MP3表示など、MP3ディスクの項目は、MP3チェンジャーを本機に接続しているときに限り表示されます。
- 演奏中に電源を「切」にしたときは、再度電源を「入」にすると、同じディスクから演奏が始まります。
- MP3ディスクについては、25ページの「MP3/WMAディスクについて」や26ページの「CD-R/CD-RWディスクについて」をご覧ください。

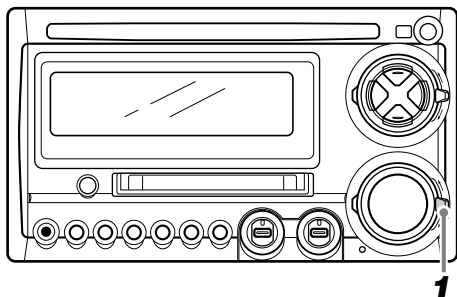
CD演奏中に表示内容を変える

 を押します。

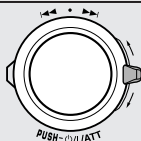
押すごとに表示窓の表示内容が切り換わります(→ 31、32ページ)。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

早送り/早戻しをする(サーチ)

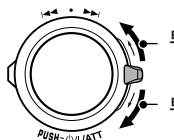


1



を上または下に
押し続ける

押し続けている間、演奏中の音が小さくなり、早送りまたは早戻し再生になります。指を離すと、通常の演奏に戻ります。

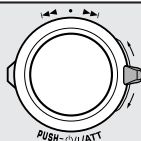


早戻しになります。

早送りになります。

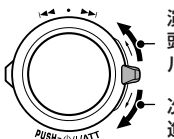
頭出しをする(スキップ)

1



を上または下に
押し

押すごとに次の曲(ファイル)、演奏中の曲(ファイル)または前の曲(ファイル)の頭にスキップします。

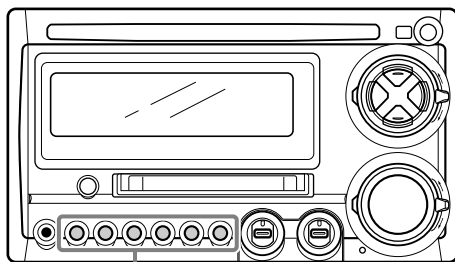


演奏中の曲(ファイル)の
頭または前の曲(ファイル)の
頭に戻ります。

次の曲(ファイル)の頭に
進みます。

聞きたいディスクを選ぶ

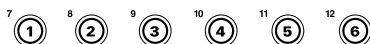
演奏中に別のディスクがダイレクトに選べます。



1

1

数字ボタン(1~6)を押す



• 1~6枚目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ポン」と押します。

例: 3枚目を選ぶ

⁹ ③ を「ポン」と押します。

• 7~12枚目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

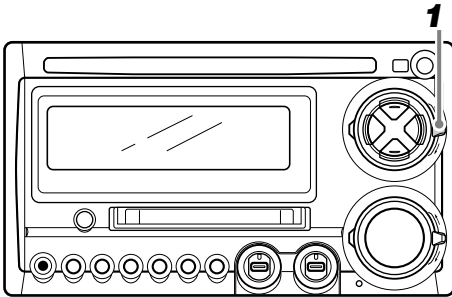
例: 12枚目を選ぶ

¹² ⑥ を1秒以上押します。

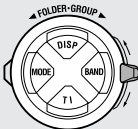
聞きたいフォルダを選ぶ

選んだフォルダの頭の曲から聞くことができます(フォルダスキップ)。

MP3チェンジャーの場合のみ

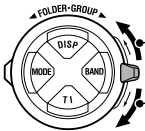


1



を上または下に
押す

押すごとに次のフォルダの頭の曲(ファイル)、演奏中のフォルダの頭または前のフォルダの頭の曲(ファイル)にスキップします。



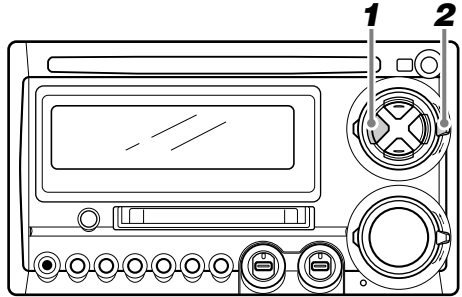
演奏中のフォルダまたは
前のフォルダの頭の曲
(ファイル)に戻ります。

次のフォルダの頭の曲
(ファイル)に進みます。

曲を10ずつダイレクトに選ぶ

10曲単位で曲(ファイル)を飛ばして、聞きたい曲(ファイル)が素早くダイレクトに選べます。

MP3チェンジャーの場合のみ



1



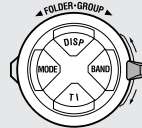
を押す

「4-10 +10#」が表示されます。



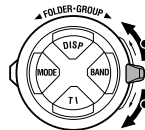
5秒以内に

2



を上または下に
押して曲(ファイル)を選ぶ

もっとも近い10の倍数(10、20、30...)の曲(ファイル)番号に変わります。その後はボタンを押すごとに、10ずつ曲(ファイル)番号が変わります。



← 前の10曲目に移動します。

← 次の10曲目に移動します。

・36ページの「曲(ファイル)の選びかた」もご覧ください。


CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

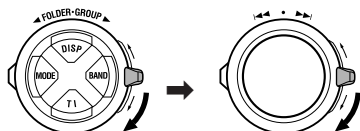
曲(ファイル)の選びかた

10曲ずつ移動する方法と、1曲ずつ移動する方法を組み合わせ、目的の曲(ファイル)番号を素早く選びます。

MP3チェンジャーの場合のみ

例: 曲番号6の演奏中に曲番号32を選ぶときは

 を押して「4-10 +10▶」表示中(5秒以内)に




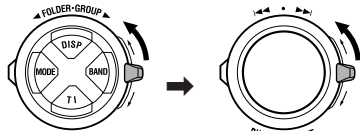
(下に3回押す)

(下に2回押す)

曲番号が、6 → 10、20、30 → 31、32と移動します。

例: 曲番号36の演奏中に曲番号8を選ぶときは

 を押して「4-10 +10▶」表示中(5秒以内)に



(上に3回押す)

(上に2回押す)

曲番号が、36 → 30、20、10 → 9、8と移動します。

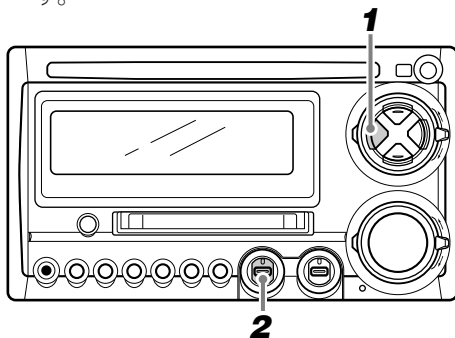
〈お知らせ〉

- 曲(ファイル)数が10曲に足りないときは、最後の曲(ファイル)が選ばれます。
- 最後の曲まで移動した後に次の曲を選ぶと、最初の曲に戻ります。
- 10曲ずつ移動するときは、各レバーを押す間隔を2秒以上空けないでください。

いろいろな再生モードを使用する

● リピート演奏

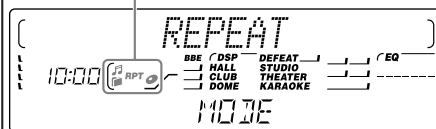
演奏中の曲をくり返し聞くことができます。




1  を2回押す

「REPEAT」が表示されます。

リピート演奏表示



5秒以内に

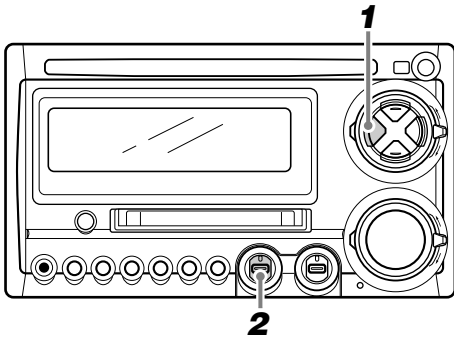
2  SELレバーを上または下に押してリピート演奏のモードを選ぶ

- ▶ **TRACK REPEAT** (RPT が点灯) : 演奏中の曲(ファイル)のくり返し演奏
- ↓
- ▶ **FOLDER REPEAT*** (RPT が点灯) : 演奏中のフォルダの全ファイルくり返し演奏
- ↓
- ▶ **DISC REPEAT** (RPT が点灯) : 演奏中のCDの全曲(ファイル)くり返し演奏
- ↓
- ▶ **REPEAT OFF** : リピート演奏解除

* MP3ディスクのとき表示されます。

● **ランダム演奏**

ランダム(無作為)な順番で曲(ファイル)を聞くことができます。



1 を3回押す

「RANDOM」が表示されます。
ランダム演奏表示



5秒以内に

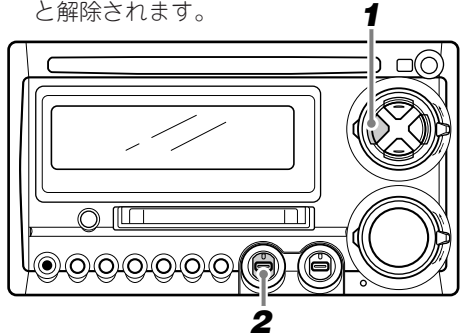
2 SELレバーを上または下に押してランダム演奏のモードを選ぶ

- **FOLDER RANDOM*** (が点灯) : 演奏中のフォルダ内のランダム演奏
- ↓
- DISC RANDOM** (が点灯) : 演奏中のCDの全曲(ファイル)ランダム演奏
- ↓
- ALL RANDOM** (が点灯) : マガジン内のCDの全曲(ファイル)ランダム演奏
- ↓
- RANDOM OFF** : ランダム演奏解除

* MP3ディスクのとき表示されます。

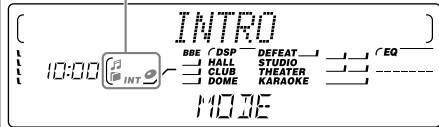
● **イントロスキャン**

聞きたい曲(ファイル)が素早く探せます。曲(ファイル)の頭を15秒ずつ演奏していきます。一通りイントロスキャンが終わると解除されます。



1 を4回押す

「INTRO」が表示されます。
イントロスキャン表示



5秒以内に

2 SELレバーを上または下に押してイントロスキャンのモードを選ぶ

- **TRACK INTRO** (が点灯) : 演奏中のCDの全曲(ファイル)を順番にイントロスキャン
- ↓
- FOLDER INTRO*** (が点灯) : 全フォルダの1ファイル目をイントロスキャン
- ↓
- DISC INTRO** (が点灯) : マガジン内の全CDの1ファイル目をイントロスキャン
- ↓
- INTRO OFF** : イントロスキャン解除
聞きたい曲が見つかったら、 レバーを上を押します。

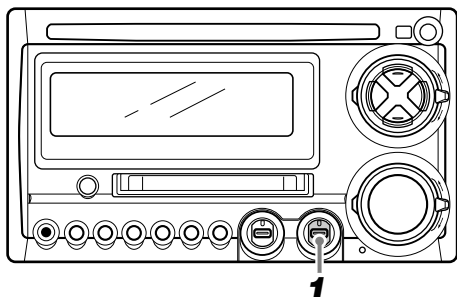
* MP3ディスクのとき表示されます。

他の機器の音声を聞く

● LINE IN端子を使う

準備

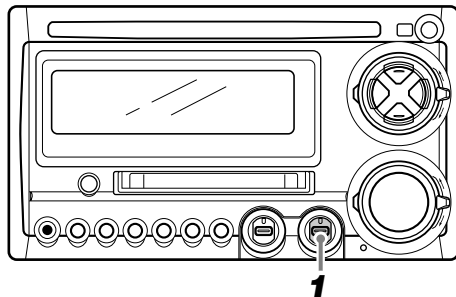
- LINE IN端子に市販のカーAV機器を接続しておきます。
→ 別紙の取付説明書参照



● フロントAUX端子を使う

準備

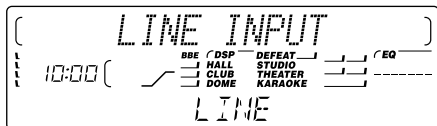
- フロントAUX端子にポータブルMDプレーヤーなどを接続しておきます。



1



SOURCEレバーを上または下に押し、ソース(音源)を「LINE INPUT」にする



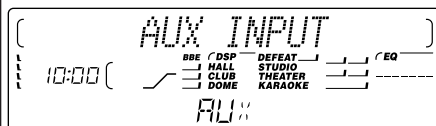
2 接続した機器の演奏を始める

- 接続した機器に音量調節があるときは、FM放送の音量と同じ程度に聞こえるように調節してください。

1



SOURCEレバーを上または下に押し、ソース(音源)を「AUX INPUT」にする



2 接続した機器の演奏を始める

- 接続した機器に音量調節があるときは、FM放送の音量と同じ程度に聞こえるように調節してください。

〈お知らせ〉

- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- FM放送より音量が小さい(または大きい)ときは、SELレバーを上1回押して「VOL.ADJUST(ソース間音量)」を選び、音量差を調節することができます。(→ 48ページ)

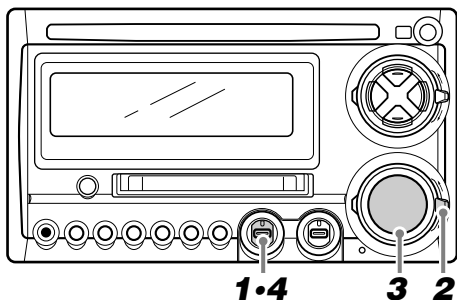
〈お知らせ〉

- FM放送より音量が小さい(または大きい)ときは、SELレバーを上1回押して「VOL.ADJUST(ソース間音量)」を選び、音量差を調節することができます。(→ 48ページ)

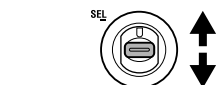
SELレバーを使った各種設定と調節

PSMモードの設定方法

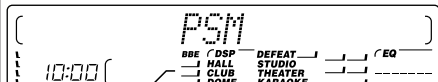
- 各操作には時間制限があります。15秒以上間隔を空けないで次の操作を行ってください。



1 SELレバーを上または下に2秒以上押す

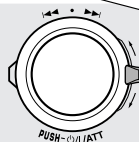


表示窓に「PSM」が表示されます。



15秒以内に

2 を上または下に押してPSMのメニュー項目を選ぶ



40ページの「PSMモードの一覧」をご覧ください。

15秒以内に

3 を回して設定または調節をする



各項目の設定の詳細は、41、42ページをご覧ください。

4 SELレバーを上または下に押す



設定が終了します。

SELレバーを押さないときは、15秒後に自動で終了します。

〈お知らせ〉

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

SELレバーを使った各種設定と調節(つづき)

PSMモードの一覧

メニュー項目	設定値	初期設定	参照ページ
DEMO デモ設定	ALL TIME ↔ INTERVAL ↑ ↓ OFF ↓ ↑	ALL TIME	41
時刻設定 HOUR 時計設定(時)	戻る ↔ 進む	1 (1:00)	13
時刻設定 MIN 時計設定(分)	戻る ↔ 進む	00 (1:00)	13
パワーオフ時計 時計表示設定	DEMO ↔ OFF ↑ ↓ ON ↓ ↑	OFF	41
DIMMER切替 ディマー設定	AUTO ↔ OFF ↑ ↓ ON ↓ ↑	AUTO	41
ステーションエリア チューナー設定	エリアナシ ↔ 北海道 ↔ 東北 ↑ ↓ 沖縄 ↓ 関東 ↑ ↓ 九州 ↔ 四国 ↔ 中国 ↔ 近畿 ↔ 中部 ↓ ↑	エリアナシ	41
コントラスト調節 コントラスト	1 ~ 10	5	41
文字スクロール スクロール設定	ONCE ↔ AUTO ↑ ↓ OFF ↓ ↑	ONCE	41
BEEP キー入力音設定	ON ↔ OFF	ON	41
TAG DISP タグ情報表示設定	ON ↔ OFF	ON	41
タイム シグナル 時報表示設定	ON ↔ OFF	ON	42
パワーフラッシュ 電源ランプ設定	ON ↔ OFF	OFF	42
レベル レベルメーター設定	ALL ↔ 1 ↑ ↓ OFF ↓ ↔ 2 ~ 5 ↓ ↑	ALL	42
ミュートイング ミュートイング設定	OFF ↔ 1 ↑ ↓ 2 ↓ ↑	OFF	42
アンプゲイン アンプ出力設定	HIGH ↔ LOW ↑ ↓ OFF ↓ ↑	HIGH	42

PSMモードの機能説明(1)

DEMO(デモ表示)

表示窓のデモ表示を設定します。

- ・ ALL TIME : 20秒以上何も操作をしないとデモ表示になります。
- ・ INTERVAL : 20秒以上何も操作をしないとソース(音源)表示が20秒間隔でデモ表示になります。
- ・ OFF : デモ表示なし

パワーオフ時計

本機の電源を「切」にしたときの時計表示について設定します。

- ・ DEMO : 時計表示とデモ表示
- ・ ON : 時計表示
- ・ OFF : 表示なし

DIMMER切替

表示窓および各ボタンの明るさを状況に応じて変えることができます。

- ・ AUTO : 車両のライトを「ON」にすると変わります。
(本機の「イルミネーション」コードを車両のイルミ電源に接続しておきます)
- ・ OFF : 変わりません。
- ・ ON : 常時暗くなります。

ステーションエリア

お使いになる地域の放送局を受信したとき、自動でその放送局名を表示させることができます。

- ・ エリアなし : 放送局名は表示しません。
- ・ 北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄 : 「ご利用の地域」を選んでください。

(地域ごとの放送局名は、「放送局名一覧」)
 (⇒ 50～53ページ)をご覧ください)

コントラスト

表示窓のコントラストを調節することができます。運転席から表示窓がよく見えるように調節します。

- ・ 1～10 : 10段階で調節できます。

文字スクロール

表示窓の文字表示がスクロール表示されるときモードを変えることができます。

- ・ ONCE : 名前表示を切り換えたとき1回スクロールします。
- ・ AUTO : 一定間隔でスクロールをくり返します。
- ・ OFF : DISPボタンを1秒以上押したときだけスクロールします。

なお、放送局名は、スクロール表示されません。

BEEP(ビーブ)

ボタン操作時の「ピッ」音を「オン/オフ」することができます。

- ・ ON : ビーブ音あり
- ・ OFF : ビーブ音なし

TAG DISP(タグ情報表示)

MP3/WMAディスクのTag表示を「オン/オフ」することができます。

- ・ On : Tag表示あり
- ・ Off : Tag表示なし

SELレバーを使った各種設定と調節(つづき)

PSMモードの機能説明(2)

タイム シグナル

1時ちょうど、2時ちょうどなど、時報のように時刻のデモ表示をします。

- ・ ON : デモ表示あり
- ・ OFF : デモ表示なし

パワーフラッシュ

エンジンキーを「OFF」にしたとき、▲(CD取出し)ボタンのランプが点滅してACCが「切」になっていることをお知らせします。

- ・ ON : ランプが点滅します。
- ・ OFF : ランプが点滅しません。

レベル

レベルメーターの表示を選びます。

- ・ ALL : 5種類のレベルメーターをレベル1～5の順に表示します。
- ・ レベル1 : 内側から左右のレベルメーター
- ・ レベル2 : 外側から左右のレベルメーター
- ・ レベル3 : 内側から外側に流れるレベルメーター
- ・ レベル4 : レベル3の反転表示
- ・ レベル5 : 波形のレベルメーター

(DISP ボタンをくり返し押し)
て表示させます

ミュートイング

市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音(ミュートイング)することができます。なお、ミュートイング中、CDまたはMDの演奏は停止しません。

- ・ 1 : [ミュートイング]コード(茶)を接続したあと、通常はこの設定で使います。ミュートイングが正しく動作することを確認してください。
- ・ 2 : ミュートイング1ではミュートイングが正しく動作しないときこの設定にして、ミュートイングが正しく動作することを確認してください。
- ・ OFF : 本機能を使用しないとき。または1/2ともミュートイングが正しく動作しないとき、この設定にします。

なお、ミュートイングによって音声が出ないときは、本機の表示窓に「Muting」が点滅表示されます。

(市販の全てのナビゲーションシステムとの接続で、動作を保証するものではありません)

アンプゲイン

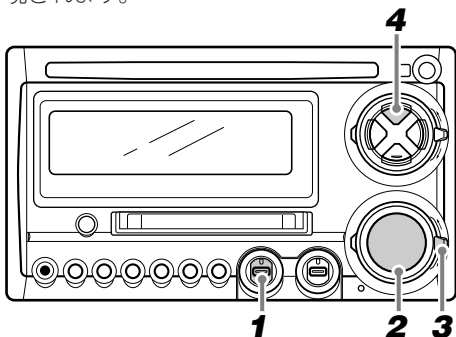
純正スピーカーを壊さないために、本機に接続しているスピーカーの最大入力ワット数に合わせて設定します。また、本機をプリアンプとして使うこともできます。

- ・ HIGH : スピーカーの最大入力が50Wを超えるとき (VOLUME 00 ~ VOLUME 50)
- ・ LOW : スピーカーの最大入力が50W以下のとき (VOLUME 00 ~ VOLUME 30)
- ・ OFF : 内蔵のパワーアンプを使用しないとき(プリアンプとして使います)

DSPを使う

音場を選ぶ

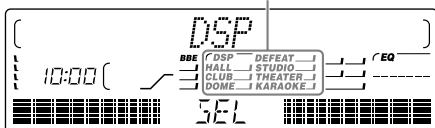
本機には、あらかじめ6つ音場がメモリーされています。ソース(音源)の再生音に合わせて音場を選べば、演奏会場や劇場の雰囲気再現されます。



1 SELレバーを下に「ポン」と押す

表示窓に「DSP → DEFEAT」が表示されます。

DSP表示



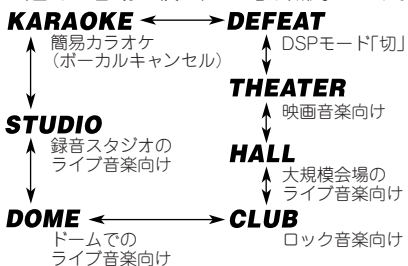
15秒以内に

2 を回して音場を選ぶ

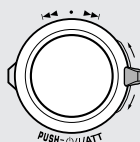


次のように音場が切り換わります。

・ 選んだ音場の横に「—」が点灯します。



3 を上または下に押し DSPの効果を調節する



「THEATER」、「HALL」、「CLUB」、「DOME」、「STUDIO」を選んだとき：DSPの効果を「1」、「2」、「3」の3段階で調節することができます。



・ 数字が大きくなるほど効果が大きくなります。

さらに、MODEを押して、より詳細な調節をすることができます。(→ 44ページ)

4 DISPボタンを押してソース(音源)の表示に戻す

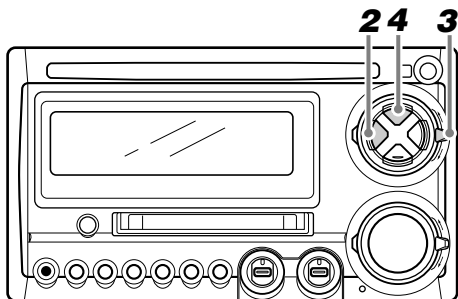


何も操作しないと、15秒後に自動でソース(音源)の表示に戻ります。

DSPを使う(つづき)

DSPモードを詳細に調節する

お車の環境に合わせてDSPのモードをより詳細に調節することができます。この調節は、「**DEFEAT**」または「**KARAOKE**」以外のDSPのモードで設定できます。



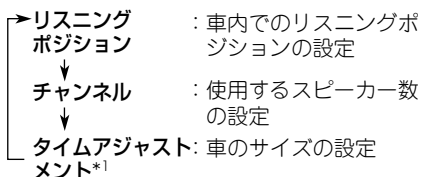
1 「DEFEAT」または「KARAOKE」以外のDSPモードを選ぶ

15秒以内に

2 を押して調節する項目を選ぶ

次のように音場が切り換わります。

- **MODE**ボタンを押すごとに次のように項目が切り換わります。



*1「**タイムアジャストメント**」は、「**チャンネル**」の設定で「**4ch**」を選んだとき、表示されます。

3 を上または下に押して項目の調節をする

- **リスニングポジション**
 - **ALL** : 全座席で聞くととき(お買い上げ時)
 - ↕
 - **FRONT** : フロント左右両座席で聞くととき
 - ↕
 - **FRIGHT** : フロント右座席だけで聞くととき
 - ↕
 - **FLEFT** : フロント左座席だけで聞くととき

• フェーダーやバランスを極端に偏るように設定すると、十分な効果が得られないことがあります。

- **チャンネル**
 - **4ch** : フロントスピーカーとリアスピーカーを使っているとき
 - ↕
 - **2ch** : フロントスピーカーのみ使っているとき

• 「**4CH**」を選んだときは、さらに「**タイムアジャストメント**」を設定することができます。

- **タイムアジャストメント***2
 - **COMPACT** : フロントスピーカーよりリアスピーカーの方がリスニングポジションに近いとき
 - ↕
 - **MIDDLE** : フロントスピーカーとリアスピーカーがリスニングポジションから(ほぼ)等距離にあるとき (お買い上げ時)
 - ↕
 - **LARGE** : フロントスピーカーよりリアスピーカーの方がリスニングポジションから遠いとき

4 DISPボタンを押してソース(音源)の表示に戻す

何も操作しないと、15秒後に自動でソース(音源)の表示に戻ります。

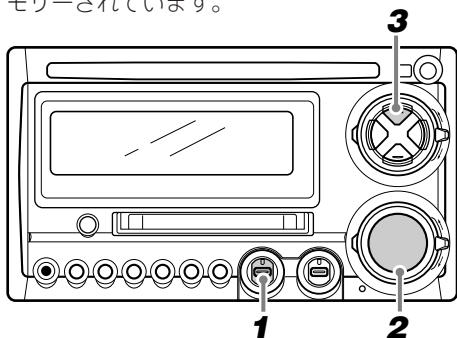
*2タイムアジャストメント機能とは…

「車のサイズ」を設定することで最適なリスニング環境で聞けるように、出力信号にデジタル処理で遅延をかけて、仮想的に時間補正をする機能のことです。

iEQ*を使う

EQパターンを選ぶ

本機には、あらかじめ12のEQパターンがメモリーされています。

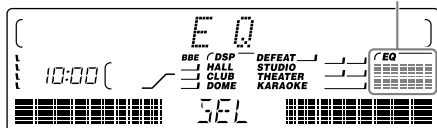


- EQパターンには、次のように音楽の各ジャンルに合わせた設定が用意されています。

ハードロック リズム ブルース ポップ
JAZZ, DANCE MUSIC, CLASSIC,
COUNTRY, REGGAE, CLASSIC,
USER 1~3(ユーザー設定です)、
FLAT(全周波数がフラットな設定です)

1 SELレバーを下に2回押す

表示窓に「EQ」が表示されます。 EQ表示



15秒以内に

2 EQダイヤルを回してEQパターンを選ぶ

選んだEQパターンに応じて、EQ表示が切り換わります。

3



DISPボタンを押してソース(音源)の表示に戻す

何も操作しないと、15秒後に自動でソース(音源)の表示に戻ります。

＜お知らせ＞

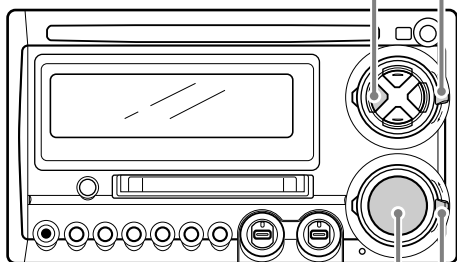
- 「USER 1」～「USER 3」には、ご自分で調節したEQのバンドとレベルがメモリーできません(→ 46ページ)。お買い上げ時は「FLAT」と同じEQパターンになっています。
- 「HARD ROCK」～「CLASSIC」には、ご自分で調節したEQパターンはメモリーできません。
- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと調節したEQパターンはFLATと同じEQパターンに戻ります。

* iEQとは：
intelligent Equalizer(インテリジェントイコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称です。

iEQ*を使う(つづき)

調節したEQを記憶(メモリー)させる

5.1・6 3



5.2 2

次の表のように各バンドごとにEQレベルを調節することができます。

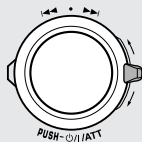
バンド	EQレベル
60 Hz, 150 Hz, 400 Hz, 1 kHz, 2.4 kHz, 6 kHz, 12 kHz, 60 Hz	各バンドごとに -05~00~+05

1 調節したいEQパターンを選ぶ

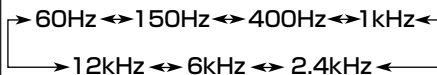
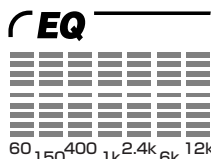
45 ページ手順 1, 2 参照

15秒以内に

2 を上または下に 押して調節する バンド(60Hz~ 12kHz)を選ぶ

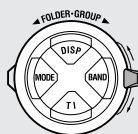


◀▶レバーを押すごとに次のように
バンドが切り換わります。



15秒以内に

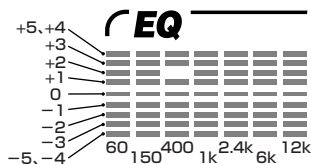
3



を上または下に押
してレベル(-05
~+05)を調節する

◀FOLDER・GROUP▶レバーを押すごと
に「-05」から「+05」の範囲で変化します。

例: バンド「400Hz」をレベル「+2」に調
節したとき



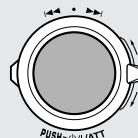
4 手順2と3をくり返し、他の バンドを調節する

- 各バンドの調節のあとで、調節内容を記憶させるときは、手順5に進みます。一時的な調節のときは、DISPボタンを押して、ソース(音源)を表示させ終了します。
- 何も操作しないと、15秒後に自動でソース(音源)の表示に戻ります。

5



を押して「USER
1 登録?」を表示
させ(5.1)、



を回して登録先
を選ぶ(5.2)

「USER 1」~「USER 3」から選びます。

6



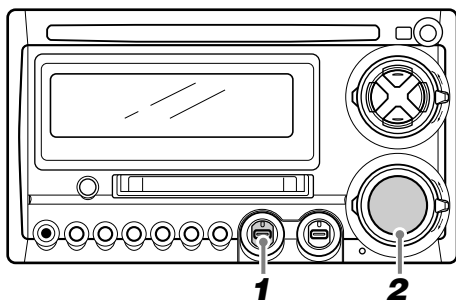
を押して登録する

「登録中」が表示されます。
登録が終わると、ソース(音源)表示に戻
ります。

音量の調節

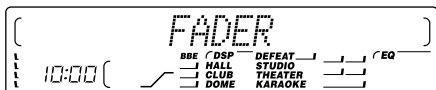
フェーダーやバランスを調節する

前後や左右の出力バランスを調節します。



1 SELレバーを下に3回(フェーダー)または4回(バランス)押す

表示窓に「FADER」または「BALANCE」が表示されます。



15秒以内に

2 を回して出力バランスを調節する

フェーダーの調節:

「R06」～「F06」の範囲で調節できます。

- ・ R: フロントの出力が下がる
- ・ F: リアの出力が下がる

バランスの調節:

「L06」～「R06」の範囲で調節できます。

- ・ L: 右チャンネルの出力が下がる
- ・ R: 左チャンネルの出力が下がる

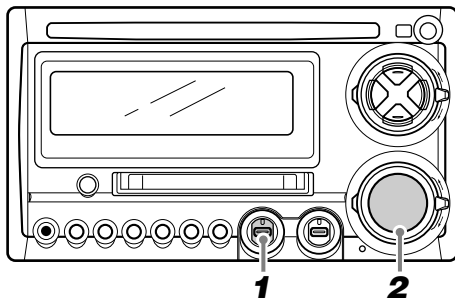
ソース(音源)表示に戻すには、DISPボタンを押します。

何も操作しないと、15秒後に自動でソース(音源)の表示に戻ります。

<お知らせ>

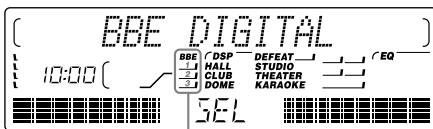
- フェーダーは、4スピーカー接続のときに限り調節してください。

BBEを使う



1 SELレバーを上3回押す

表示窓に「BBE DIGITAL」が表示されます。



効果レベル表示

15秒以内に

2 を回してBBEの効果レベルを調節する

「OFF」～「3」の範囲で調節できます。

- ・ OFF: BBEを使いません。
- ・ 数値が大きくなるほど効果が大きくなります。

ソース(音源)表示に戻すには、DISPボタンを押します。

何も操作しないと、15秒後に自動でソース(音源)の表示に戻ります。

次のページに続く
(BBEデジタルについて)

音量の調節(つづき)

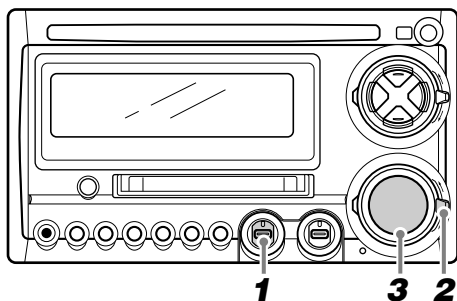
●BBEデジタルについて

BBE DIGITAL BBEシステムは、音楽信号が回路を通過するときに発生する高周波成分の時間遅延・振幅の狂いを、位相補正と高域ブーストの組み合わせにより修復し、原音の波形に極めて近いものに戻します。このBBEシステムをデジタル処理することにより、さらに精密で理想的なBBEシステムの処理が可能となります。

- この製品はBBE Sound, Inc.からの実施権に基づき製造されています。
- この製品は米国BBE Sound, Inc.の所有する特許USP4638258、5510752及び5736897を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc.の登録商標です。

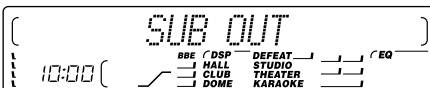
サブウーハーの音量を調節する

サブウーハーのカットオフ周波数と出力バランスを調節します。



- 1** SELレバーを上にて2回押す

表示窓に「SUB OUT」が表示されます。



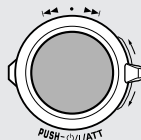
15秒以内に

- 2** を上または下に押してカットオフ周波数を選ぶ

「LOW(55Hz)」、「MID(85Hz)」、「HIGH(115Hz)」の範囲で調節できます。

15秒以内に

- 3** を回して出力を調節する



「00」～「08」の範囲で調節できます。

- 数値が大きくなるほど各出力が下がります。

ソース(音源)表示に戻すには、DISPボタンを押します。

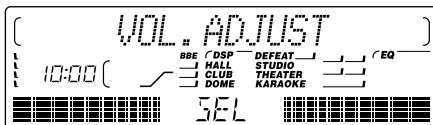
何も操作しないと、15秒後に自動でソース(音源)の表示に戻ります。

ソース(音源)ごとの音量差を調節する

AM放送やLINE INPUTなどの音がFM放送の音より小さい(または大きい)ときは、音量差を調節することができます。

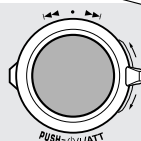
- 1** SELレバーを上にて1回押す

表示窓に「VOL. ADJUST」が表示されます。



15秒以内に

- 2** を回して音量バランスを調節する



「-05」～「+05」の範囲で調節できます。

- 数値が大きくなるほど音量が大きくなります。

ソース(音源)表示に戻すには、DISPボタンを押します。

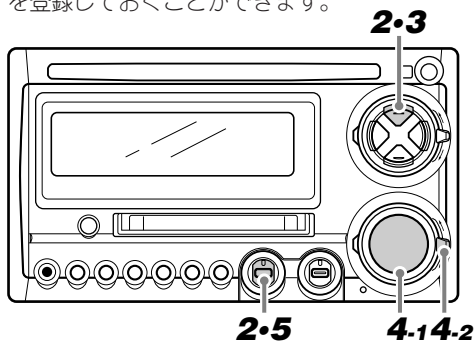
何も操作しないと、15秒後に自動でソース(音源)の表示に戻ります。

＜お知らせ＞

- VOL. ADJUST(ソース間音量)は、FM放送の音量を基準にしています。ソース(音源)が「FM」のときは、表示窓に「Fix」が表示され、調節できません。

文字の入力のしかた

32局分/最大12文字の放送局名と、最大16文字のLINE INPUTまたはAUX INPUTの名称を登録しておくことができます。

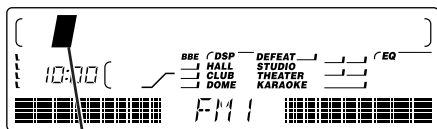


1 文字を入力したいソース(音源)を選ぶ

- FM, AM, LINE INPUTまたはAUX INPUTのいずれかを選びます。

2 DISPを押したまま SELレバーを同時に2秒以上、下に押す

- 例：FM1のとき



カーソル

30秒以内に

3 DISPで文字の種類を選ぶ

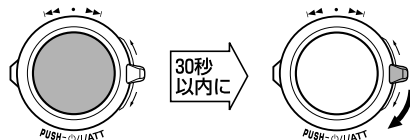
英大文字 → 英小文字
↑
カタカナ ← 数字・記号

- 文字の種類についてはの59ページの「文字配列表」をご覧ください。

30秒以内に

4 回転ボリュームで文字を選び、◀◀◀▶▶▶レバーを下に押し、カーソルを移動させ、文字を入力する

4-1 文字を選び… 4-2 カーソルを移動させる



(4-1と4-2をくり返す)

- 文字を間違えたときは、◀◀◀▶▶▶レバーを上にしてカーソルを戻し正しい文字を上書きします。スペース(空白)を選んで、文字を消すこともできます。

30秒以内に

5 SELレバーを上または下に押し、入力確定する

- 入力した文字を確定するときは、必ずSELレバーを上または下に押しください。押さないと確定されません。

〈お知らせ〉

- 33局目の放送局名を入力しようとしても、「NAME FULL」が表示されて入力モードに入ることができません。この場合、あらかじめ不要な名称を削除してから再度入力してください。
- 全てスペース(空白)を入力し、確定すると名称を削除することができます。
- 文字を入力したあとDISPボタンを1秒以上押し、一括して消去することができます。このあと必ずSELレバーを上または下に押し、確定してください。これにより削除されます。

放送局名一覧

	放送局名	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	旭川	85.8MHz
	〃	北見	86.0MHz
	〃	函館	87.0MHz
北海道(AM)	NHK第1	札幌	567kHz
	〃	釧路	585kHz
	〃	帯広	603kHz
	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	〃	675kHz
	NHK第2	北見	702kHz
	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	室蘭	1,125kHz
	〃	帯広	1,125kHz
	〃	釧路	1,152kHz
NHK第1	北見	1,188kHz	
STVラジオ	旭川	1,197kHz	
HBCラジオ	帯広	1,269kHz	
〃	札幌	1,287kHz	
〃	稚内	1,368kHz	
〃	釧路	1,404kHz	
STVラジオ	札幌	1,440kHz	
HBCラジオ	網走	1,449kHz	
NHK第2	函館	1,467kHz	
HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
NHK第2	旭川	1,602kHz	

	放送局名	場所	周波数
東北地方(FM)	FM岩手	盛岡	76.1MHz
	Date FM	仙台	77.1MHz
	エフエム青森	青森	80.0MHz
	FM山形	山形	80.4MHz
	ふくしまFM	郡山	81.8MHz
	NHK-FM	山形	82.1MHz
	〃	仙台	82.5MHz
	FM秋田	秋田	82.8MHz
	NHK-FM	盛岡	83.1MHz
	〃	福島	85.3MHz
東北地方(AM)	〃	青森	86.0MHz
	〃	秋田	86.7MHz
	NHK第1	盛岡	531kHz
	〃	山形	540kHz
	IBC岩手放送	盛岡	684kHz
	NHK第2	秋田	774kHz
	NHK第1	仙台	891kHz
	山形放送	山形	918kHz
	秋田放送	秋田	936kHz
	NHK第1	青森	963kHz
NHK第2	仙台	1,089kHz	
青森放送	青森	1,233kHz	
東北放送	仙台	1,260kHz	
関東地方(AM)	NHK第1	福島	1,323kHz
	NHK第2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	福島	1,458kHz
	NHK第1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	山形	1,521kHz
	AFN	三沢	1,575kHz
	NHK第2	福島	1,602kHz
	関東地方(FM)	インター FM	東京
レディオ・ベリー		宇都宮	76.4MHz
放送大学		東京	77.1MHz
BAY-FM		船橋	78.0MHz
FM-FUJI		三ツ峠	78.6MHz
放送大学		前橋	78.8MHz
NACK 5		さいたま	79.5MHz
TOKYO FM		東京	80.0MHz
NHK-FM		宇都宮	80.3MHz
〃		千葉	80.7MHz

	放送局名	場所	周波数
関東地方(FM)	J-WAVE	東京	81.3MHz
	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	∕	横浜	81.9MHz
	∕	東京	82.5MHz
	∕	水戸	83.2MHz
関東地方(FM)	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz
	NHK-FM	さいたま	85.1MHz
関東地方(AM)	FM群馬	前橋	86.3MHz
	NHK第1	東京	594kHz
	NHK第2	∕	693kHz
	AFN	∕	810kHz
	TBSラジオ	∕	954kHz
	文化放送	∕	1,134kHz
	茨城放送	水戸	1,197kHz
	ニッポン放送	東京	1,242kHz
	ラジオ日本	横浜	1,422kHz
	栃木放送	宇都宮	1,530kHz
中部地方(FM)	FM福井	福井	76.1MHz
	FM新潟	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	FM Part	新潟	79.0MHz
	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	美ヶ原	79.7MHz
	岐阜FM	高山	80.0MHz
	FM石川	金沢	80.5MHz
	中部地方(AM)	FM AICHI	名古屋
NHK-FM		富山	81.5MHz
∕		金沢	82.2MHz
∕		新潟	82.3MHz
∕		名古屋	82.5MHz
FMとやま		富山	82.7MHz
FM-FUJI		坊ヶ峰	83.0MHz
NHK-FM		福井	83.4MHz
∕		岐阜	83.6MHz
∕		長野	84.0MHz
中部地方(FM)	∕	甲府	85.6MHz
	∕	静岡	88.8MHz

	放送局名	場所	周波数
中部地方(AM)	NHK第2	静岡	639kHz
	NHK第1	富山	648kHz
	∕	名古屋	729kHz
	北日本放送	富山	738kHz
	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	長野	819kHz
	∕	新潟	837kHz
	福井放送	福井	864kHz
	NHK第1	静岡	882kHz
	NHK第2	名古屋	909kHz
中部地方(FM)	NHK第1	福井	927kHz
	∕	甲府	927kHz
	NHK第2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	長野	1,098kHz
	北陸放送	金沢	1,107kHz
	新潟放送	新潟	1,116kHz
	NHK第1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	金沢	1,386kHz
近畿地方(AM)	静岡放送	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	長野	1,467kHz
	∕	福井	1,521kHz
	∕	新潟	1,593kHz
	∕	甲府	1,602kHz
	FM CO・CO・LO	生駒山	76.5MHz
	E-Radio	滋賀	77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	姫路	77.6MHz
	FM三重	津	78.9MHz
FM 802	大阪	80.2MHz	
近畿地方(FM)	NHK-FM	津	81.8MHz
	∕	京都	82.8MHz
	∕	大津	84.0MHz
	∕	和歌山	84.7MHz
	fm osaka	大阪	85.1MHz
	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	∕	奈良	87.4MHz
	∕	大阪	88.1MHz
	α-STATION	京都	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	神戸	89.9MHz

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	場所	周波数		放送局名	場所	周波数
近畿地方(A.M.)	AM KOBE	神戸	558kHz	四国地方(F.M.)	NHK-FM	高松	86.0MHz
	NHK第1	京都	621kHz		〃	高知	87.5MHz
	〃	大阪	666kHz		〃	高松	87.7MHz
	NHK第2	〃	828kHz	四国	高知放送	高知	900kHz
	ABCラジオ	〃	1,008kHz		NHK第1	徳島	945kHz
	KBS京都	京都	1,143kHz		〃	松山	963kHz
MBSラジオ	大阪	1,179kHz	〃		高知	990kHz	
ラジオ大阪	〃	1,314kHz	NHK第2		高松	1,035kHz	
和歌山放送	和歌山	1,431kHz	南海放送		高松	1,116kHz	
中国地方(A.M.)	FM岡山	岡山	76.8MHz	中国地方(A.M.)	NHK第2	高知	1,152kHz
	エフエム山陰	松江	77.4MHz		四国放送	徳島	1,269kHz
	広島FM	広島	78.2MHz		NHK第1	高松	1,368kHz
	FM山口	山口	79.2MHz		西日本放送	〃	1,449kHz
	NHK-FM	松江	84.5MHz		NHK第2	松山	1,512kHz
	〃	山口	85.3MHz		九州	Love FM	福岡
〃	鳥取	85.8MHz	FM中九州	熊本		77.4MHz	
エフエム山陰	浜田	86.6MHz	FM佐賀	佐賀		77.9MHz	
NHK-FM	広島	88.3MHz	CROSS FM	福岡		78.7MHz	
〃	岡山	88.7MHz	SMILE-FM	長崎		79.5MHz	
			FM鹿児島	鹿児島		79.8MHz	
中国地方(F.M.)	NHK第1	〃	603kHz	FM福岡	福岡	80.7MHz	
	〃	山口	675kHz	中国地方(F.M.)	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	NHK第2	広島	702kHz		FM宮崎	宮崎	83.2MHz
	山口放送	周南	765kHz		NHK-FM	長崎	84.5MHz
	山陰放送	米子	900kHz		〃	福岡	84.8MHz
	NHK第1	下関	1,026kHz		〃	熊本	85.4MHz
	〃	広島	1,071kHz		〃	鹿児島	85.6MHz
	NHK第2	鳥取	1,125kHz	〃	北九州	85.7MHz	
	NHK第1	松江	1,296kHz	〃	佐世保	86.0MHz	
	中国放送	広島	1,350kHz	〃	宮崎	86.2MHz	
	NHK第1	鳥取	1,368kHz	FM大分	大分	88.0MHz	
	NHK第2	山口	1,377kHz	NHK-FM	〃	88.9MHz	
〃	岡山	1,386kHz	九州地方(A.M.)	NHK第1	宮崎	540kHz	
山陽放送	〃	1,494kHz		〃	鹿児島	576kHz	
AFN	山口	1,575kHz		〃	福岡	612kHz	
NHK第2	松江	1,593kHz		〃	大分	639kHz	
				〃	長崎	684kHz	
				〃	熊本	756kHz	
四国地方(F.M.)	FM香川	高松	78.6MHz	NHK第2	〃	873kHz	
	FM愛媛	高松	79.7MHz				
	FM徳島	徳島	80.7MHz				
	FM高知	高知	81.6MHz				
	NHK-FM	高徳	83.4MHz				

	放送局名	場所	周波数
九州 地方 (AM)	宮崎放送	宮崎	936kHz
	NHK第1	佐賀	963kHz
	NHK第2	福岡	1,017kHz
	大分放送	大分	1,098kHz
	南日本放送	大分	1,107kHz
	熊本放送	熊本	1,197kHz
	長崎放送	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	長崎	1,377kHz
	◇ KBCラジオ NHK第2 ◇ AFN	鹿児島 福岡 大分 宮崎 佐世保	1,386kHz 1,413kHz 1,467kHz 1,467kHz 1,575kHz
沖縄 (FM)	FM 沖縄	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN 沖縄	◇	89.1MHz
沖縄 (AM)	NHK第1	沖縄	549kHz
	AFN	◇	648kHz
	琉球放送	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	◇	864kHz
	NHK第2	◇	1,125kHz

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状	原 因 ・ 処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 → ボールペンなどで軽くリセットボタンを押す。 (→ 9ページ) (時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)
電源を切っても「ATT」が点滅表示する。	<ul style="list-style-type: none"> ● ⓪/I(電源)/ATTボタンを1秒以上押す。
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源(ACCライン)のコードが接続されていないため。 ● 車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため。 (→ 12ページ)
MDが入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ラベル面を上にし、⇨や▷の表示にしたがって正しく入れる。 ● すでにMDが入っているときは取り出す。
MDやCDの取り出しができない。「MD NO EJECT」または「CD NO EJECT」が点滅表示する)	<ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 → SOURCEレバーを上にしたまま▲(MD取出しまたはCD取出し)ボタンを同時に2秒以上押す。(→ 24.32ページ)
CDやMDを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を適度に調節する。 ● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 → ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。 ● CD規格(CD-DA)に準拠しないCDを使用している。 → ディスクのマークを確認する。(→ 25ページ)
CD-R/RWディスクの再生やスキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイナライズ処理がされていないため。 → ファイナライズ処理したディスクと交換する。または録音した機器でファイナライズ処理をする。
入れたCDが出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> ● CDが裏返しに入っている。 → 文字のある面を上にしてCDを入れ直す。
CDやMDの出し入れのとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● この動作のときは、音声にミュートンゲをかけて雑音の発生を防いでいるためで故障ではありません。
演奏の途中でCDが音飛びしたり停止する。	<ul style="list-style-type: none"> ● CD-R/RWディスクにラベルなどが張ってあるため、温度上昇によりディスクが反っている。 → ラベルなどを張ったディスクは使用しない。(→ 7ページ)

症 状	原因・処置
<p>放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。 ● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブラスター電源端子)に本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)を正しく接続する。 ● 車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)をこの端子に接続する。 ● 放送局の周波数に正しく合わせる。 ● 携帯電話などを本機から離す。

こんな表示のときは

表 示	原因・処置
BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音されていないMDを挿入したため。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 録音済みのMDと交換する。
NO NAME	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名や曲名が記録されていない。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ ディスク名または曲名が記録されているディスクを入れる。 ● 放送局名が入力されていない。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 放送局名を入力する。
NO MAGAZINE	<ul style="list-style-type: none"> ● マガジンが入っていないときソース(音源)を「CD-CH (チェンジャー)」にしたため。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ マガジンを入れる。
NOT SUPPORT	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイルのフォーマット(形式)が適切でない。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 正しいフォーマットのファイルを含むディスクを入れる。
NG DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽以外のMD(データMD)を入れたため。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 音楽が録音されているMDを入れる。
 (フォルダアイコン点滅)	<ul style="list-style-type: none"> ● フォルダにMP3/WMAファイルが含まれていない。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ MP3/WMAファイルを含むフォルダを選ぶ。
LOAD ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが正しく挿入されなかったとき。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ MD表面にきずや汚れがないか確認し、入れ直す。

故障かな?と思う前に (つづき)

表 示	原 因 ・ 処 置
EJECT ERROR	<ul style="list-style-type: none">● MDやCDの取り出しができなかったため。 → 挿入口の障害物を取り除き▲(MD取出しまたはCD取出し)ボタンを押す。
デモ表示などのアニメーション表示や文字スクロールが遅い。	<ul style="list-style-type: none">● 冬期低温下に長時間駐車したため本機の温度が0℃以下になっている。 → そのままラジオを聞くなどして本機の温度が上昇するまで待つ。
HIGH TEMP	<ul style="list-style-type: none">● 本機の内部の温度が異常に高くなっている。 → CDやMDを取り出し、ソース(音源)をラジオに切り換えて温度が下がるのを待つ。
MECHA ERROR	<ul style="list-style-type: none">● 内蔵のマイコンが誤作動したため。 → ボールペンなどで軽くリセットボタンを押す。 (→ 9ページ)
● CDチェンジャー	
RESET 8	<ul style="list-style-type: none">● CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 → CDチェンジャーとの接続コードを確認する。
RESET ^{数字} ○	<ul style="list-style-type: none">● CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 → CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、記憶(メモリー)した放送局は取り消されます。時刻表示は「1:00」に戻ります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や現在時刻を設定し直してください。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

54～56ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

MDプレーヤー部

- 型 式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
- 再生時間：再生モード SP：80分
(MD80使用) LP2：160分
LP4：320分
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：20Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：92dB
- S N 比：93dB

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング周波数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：102dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W
(4 Ω 、1kHz)
リア 50W+50W
(4 Ω 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ～8 Ω で使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1
LINE IN(1系統)、
1.5V/20k Ω
AUX(1系統)、
1.5V/20k Ω
- 出力端子：LINE OUT(2系統)、
2.0V/1k Ω
：SUB WOOFER(1系統)

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 取付寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行150mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行169mm
- 質量：約2.5kg(付属品含まず)

付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター) 1
- ・ネジ(M5×6mm) 8
- ・皿ネジ(M5×6mm) 8

別売りのオプション品

- ・リモコン : RM-RK41J
- ・RCA PIN コード : CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
(品番は変更されることがあります)

文字配列表

●カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ツ	
ー	・	。 (空白)							

●英大文字

(空白)	A	B	C	D	E	F	G	H	I
J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
T	U	V	W	X	Y	Z			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	”	#	\$	%	&	’	()	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

〈お知らせ〉

- 本機は、「文字配列表」以外の文字・記号は入力できません。
- 入力した放送局名をお買い上げ時の放送局名に戻すときは、リセットボタンを押します。このあと電源を入れてから、時計の設定や放送局の記憶(メモリー)などの設定をやり直してください。そのあと「SELボタンを使った各種設定と調節」(⇒ 40～41ページ)の操作で「ステーションエリア」の「ご利用の地域」を設定します。

お手入れ

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などでからぶきしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

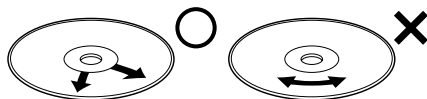


ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

CDのお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側にふく。

連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の

「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧ください。

☎ 0120-977-846 (フリーコール)
FAX (027)254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス
カーAV機器ホームページアドレス

<http://www.jvc-victor.co.jp/>

<http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12